

55BDL1007X/11

V1.01



www.philips.co.jp

ユーザーマニュアル (日本語)

PHILIPS

SignageSolutions

安全上の注意

安全のための注意事項とメンテナンス



警告:本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

操作時:

- ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源コードを再び取り付けて通常操作を行ってください。
- Philips が提供する認可された電源コードを使用してください。電源コードが不足している場合、最寄りのサービスセンターにご連絡ください。
- 操作中、ディスプレイを強い振動や高い衝撃条件にさらさないでください。
- ディスプレイの操作中あるいは運搬中に、モニターを叩いたり落したりしないでください。
- アイボルトはメンテナンスや設置の際に短期間使用するためのものです。1 時間以上にわたりアイボルトを使用し続けなことを推奨します。長期にわたる使用は禁止されています。アイボルトの使用中は、ディスプレイの下に障害物のない安全領域を確保してください。

メンテナンス:

- ディスプレイを損傷の可能性から保護するために、LCD パネルに過剰な圧力をかけないでください。ディスプレイを動かしているとき、フレームをつかんで持ち上げます。LCD パネルに手や指を置いてディスプレイを持ち上げないでください。
- 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- わずかに湿らせた布で洗浄する必要がある場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してディスプレイを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- ディスプレイが濡れたら、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- ディスプレイに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。それから、異物や水を取り除き、メンテナンスセンターに送ってください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でディスプレイを保管したり、使用したりしないでください。
- ディスプレイ最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る場所でディスプレイを使用することを強くお勧めします。
 - 温度: 0-40°C 32-104°F
 - 湿度: 20-80% RH
- 輝度の性能を向上させるため、LCD パネルの温度は常にセ氏 25 度に保つ必要があります。

重要:ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。装置が変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「残像」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。これは LCD パネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにするで「焼き付き」、「残像」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

警告:「焼き付き」、「残像」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これは、保証には含まれません。

サービス:

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- 修理または統合が必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。
- ディスプレイを直射日光にさらさないでください。



本書で設定した指示に従っても本製品が正常に動作しない場合は、修理スタッフまたは最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。



- アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。
- 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- わずかに湿らせた布で洗浄する必要がある場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。電源をオフにしているとき、画面を乾いた布で拭くことができます。ただし、アルコール、溶剤、またはアンモニアベースの液体は絶対に使用しないでください。
- 本書の指示に従っているときにディスプレイが正常に作動しない場合、修理スタッフにお問い合わせください。
- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ディスプレイは乾燥した状態を保つようにしてください。感電の原因となるため、雨や過度の湿気にさらさないでください。
- 電源ケーブルや DC 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源ケーブルや DC 電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを雨や過度の湿気にさらさないでください。
- ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- **重要:** ディスプレイを使用しない場合、スクリーンセーバープログラムを常に有効にしておいてください。コントラストの高い静止画像が長期間画面に表示されていると、画面の前面に「残像」または「ゴースト像」が残ることがあります。これは、LCD 技術に特有の欠点に起因する、よく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると残像は時間と共に徐々に消えます。残像症状は修理できず、保証に含まれないことにご注意ください。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

EU 適合宣言

本装置は、電磁両立性 (2014/30/EU)、低電圧指令 (2014/35/EU)、RoHS 指令 (2011/65/EU)、無線機器指令 (2014/53/EU) に関連する加盟国の法律の概要についての理事会指令に定める要件に適合します。

本製品は、情報技術機器の整合規格に従って試験され、それらに準拠することが判明しています。これらの整合規格は、欧州連合の官報指令に基づき、発行されています。

ESD に関する警告

ユーザーがモニターに近づくと、装置の静電放射を引き起こし、再起動してメインメニュー表示に戻る可能性があります。

警告:

本装置は、EN55032/CISPR 32 のクラス A に準拠しています。居住環境において、本装置は電波干渉を引き起こす可能性があります。

連邦通信委員会 (FCC) 通知 (米国のみ)



注記: 本装置は、FCC 規定第 15 章によるクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが試験により確認されています。これらの制限は、本装置が商用環境において運用される場合に、有害な電波障害から合理的に保護するよう設計されています。本装置は、無線周波数を発生、使用、および放射しています。使用説明書どおりに設置し使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。本装置を住宅地で使用すると有害な電波障害を起こす恐れがあります。この場合、使用者が自費で障害を是正する必要があります。



この規定の適合性に対する有責当事者による明示的な承諾が無いにもかかわらず、この機器に変更を加えたり、或は改造したりした場合、この機器を操作するためのあなたの権限が取り消されますのでご注意ください。

本製品をコンピュータ機器に接続する際は、付属された RF シールドケーブルのみを使用してください。

火災および感電による怪我の危険を防ぐため、この製品を雨や過度の湿気に晒さないようにしてください。

本装置は FCC 規則第 15 章に準拠しています。次の 2 つの条件を前提として動作します。(1) 本装置が有害な干渉を起こさないこと。(2) 本装置が望まない操作から生じる干渉を含むあらゆる干渉を受け入れること。

Envision Peripherals Inc.
47409 Seabridge Drive
Fremont, CA 94538
電話: 510-770-9988

テストおよび認定通知用の研磨センター

装置は、付属の保護回路（三叉のソケット）の付いたソケットから電力を取る必要があります。共に作動するすべての装置（コンピュータ、ディスプレイ、プリンタなど）は、同じ電源装置を使用する必要があります。

部屋の電気設備の位相整合導体は、16 アンペア (A) 以下の公称値を持つヒューズの形の予備の短絡保護デバイスを使う必要があります。

装置を完全にオフに切り替えるには、電源ケーブルを装置の傍に取り付けられ容易に手の届く電源コンセントから取り外す必要があります。

保護マーク「B」は、装置が標準の PN-93/T-42107 と PN-89/E-06251 の保護使用要件に準拠していることを確認します。

電気、磁気、電磁場 (「EMF」)

1. 当社は消費者をターゲットとした多くの製品を製造し販売しており、他の電子装置同様、一般に電磁信号を放出し受け取る能力があります。
2. 主なビジネス原則の 1 つは、当社製品に対して必要なすべての健康的で安全な措置を講じる一方で、該当するすべての必要要件に適合し、製品の製造時に該当する EMF 基準を超えないということです。
3. 当社は健康に悪影響を及ぼさない製品を開発し、製造し販売することに全力で取り組んでいます。
4. また、製品が使用目的に従って適切に扱われる場合、今日分かっている科学的証拠に従って安全に使用できることを確認しています。
5. また、国際的 EMF と安全基準の開発に積極的な役割を果たして、製品の早期統合のためのさらなる開発に先駆けて着手しています。

使用済み後の廃棄

新しい公共情報ディスプレイには、リサイクルされ再利用できる材料が含まれています。専門企業は再利用できる材料の量を増やし、廃棄する量を最小限に抑えるために製品をリサイクルできます。

最寄りの Philips 販売店から、古いディスプレイを破棄する方法に関する地方条例の情報をお尋ねください。

廃電気電子機器 -WEEE

欧州連合の個人の住宅のユーザーへの注意



製品やそのパッケージについているこのマーキングは、使用される電気・電子機器を管理する欧州指令 2012/19/EU に基づき、本製品が通常の家庭ごみと一緒に廃棄できないことを示しています。ユーザーには、指定された廃電気・電子機器の回収を通して、本機器を廃棄する責任があります。かかる廃電気・電子機器を出す場所については、地方自治体、家庭を回る廃棄物処理組織、製品を購入した店にお問い合わせください。

使用済み指令 - リサイクル



新しい公共情報ディスプレイには、新しいユーザーのためにリサイクルできるいくつかの材料が含まれています。すべての現地法、州法および連邦法に従って廃棄してください。

バッテリー



他の非 EU 諸国の場合：使用済み電池の正しい廃棄方法については、お住まいの地方自治体にお問合せください。

EU 指令 2006/66/EC に従い、電池を不適切に廃棄することはできません。電池は、地方自治体のサービスにより、個別に収集される必要があります。

目次

1.	開梱と設置	1	4.	取り扱い	18
1.1.	開梱	1	4.1.	接続されたビデオソースから見る	18
1.2.	パッケージに含まれるもの	1	4.2.	画像フォーマットを変更する	18
1.3.	設置に関する注意	1	4.3.	ローカルエリア ネットワークを経由してマルチメディア ファイルを再生する	18
1.4.	壁に取り付ける	2	4.3.1.	ネットワークの設定	18
1.4.1.	VESA 規格取付穴	2	4.3.2.	DLNA-DMP の使い方	18
1.5.	縦向きの設置について	3	4.3.3.	PC から DLNA-DMP を使うには	19
1.6.	エッジアライメントキットの使用	4	4.4.	USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する	19
1.6.1.	エッジアライメントキットを取り付ける	4	4.5.	再生オプション	20
1.7.	エッジフィニッシングキットの使用 (オプション)	5	4.5.1.	音楽ファイルの再生	20
1.7.1.	エッジフィニッシングキットを取り付ける	5	4.5.2.	Movie ファイルの再生	20
1.7.1.	エッジフィニッシングキットを取り付ける	5	4.5.3.	写真ファイルの再生	20
2.	各部の機能	6	4.6.	Opera ブラウザ (HTML5) の使い方	20
2.1.	コントロールパネル	6	5.	設定を変更するには	22
2.2.	入力 / 出力端子	7	5.1.	設定	22
2.3.	リモコン	8	5.1.1.	画像	22
2.3.1.	一般の機能	8	5.1.2.	音声	23
2.3.2.	リモコン ID	9	5.1.3.	Tiling (タイル)	23
2.3.3.	リモコンに乾電池を挿入する	10	5.1.4.	ネットワーク	26
2.3.4.	リモコンの取り扱い	10	5.1.5.	一般設定	26
2.3.5.	リモコンの動作範囲	10	5.1.6.	詳細設定	29
3.	外部機器を接続する	11	5.1.7.	ヘルプ	29
3.1.	外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続	11	6.	USB デバイス互換性	30
3.1.1.	コンポーネントビデオ入力の使用	11	7.	入力モード	33
3.1.2.	ビデオソース入力の使用	11	8.	画素欠陥ポリシー	34
3.1.3.	HDMI ビデオ入力の使用	12	8.1.	画素とサブ画素	34
3.2.	PC の接続	12	8.2.	画素欠陥の種類 + ドット定義	34
3.2.1.	VGA 入力の使用	12	8.3.	明るいドット欠陥	34
3.2.2.	DVI 入力の使用	12	8.4.	暗いドット欠陥	35
3.2.3.	HDMI 入力の使用	13	8.5.	画素欠陥の近接	35
3.2.4.	DisplayPort 入力の使用	13	8.6.	画素欠陥の許容範囲	35
3.3.	オーディオ機器の接続	13	8.7.	MURA	35
3.3.1.	外部スピーカーの接続	13	9.	清掃とトラブルシューティング	36
3.3.2.	外部オーディオ装置の接続	14	9.1.	清掃	36
3.4.	デジチェーン構成で複数のディスプレイを接続する	14	9.2.	トラブルシューティング	37
3.4.1.	ディスプレイコントロール接続	14	10.	技術仕様	39
3.4.2.	デジタルビデオ接続	15			
3.4.3.	アナログビデオ接続	16			
3.4.4.	IR デジチェーン接続	16			
3.5.	IR 接続	16			
3.6.	IR パススルー接続	17			
3.7.	ケーブルを使ったネットワーク接続	17			

1. 開梱と設置

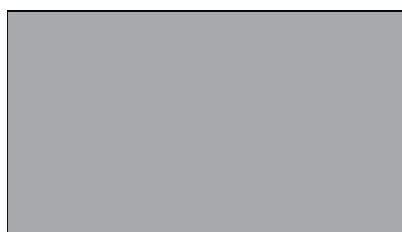
1.1. 開梱

- 本製品は、標準アクセサリと共に1つの段ボールにこん包されています。
- 他のオプションのアクセサリは、個別にこん包されます。
- 本ディスプレイのサイズと重量により、2人で動かすことをお勧めします。
- 段ボールを開けた後、内容物に足りないものがなく、良好な状態であることを確認してください。

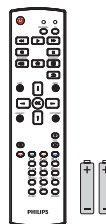
1.2. パッケージに含まれるもの

パッケージに次の品目が揃っていることを確認してください。

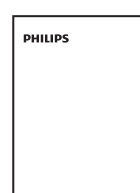
- LCD ディスプレイ
- リモコンとリモコン用乾電池
- 保証書
- クイックスタートガイド
- 電源ケーブル
- RS232 ケーブル
- RS232 デイジーチェーンケーブル
- DVI-D ケーブル
- D-sub ケーブル
- IR センサーケーブル
- IR デイジーチェーンケーブル
- エッジアラインメントキット 1: 1PCS
- エッジアラインメントキット 2: 2PCS
- つまみねじ: 8PCS



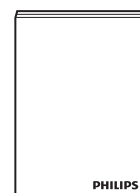
* 付属電源コードは目的地によって異なります。



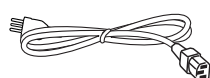
リモコンと
リモコン用乾電池



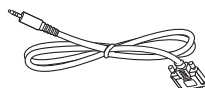
保証書



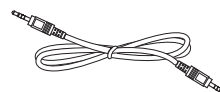
クイック
スタートガイド



電源ケーブル



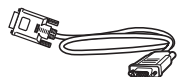
RS232 ケーブル



RS232 デイジー
チェーンケーブル



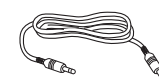
DVI-D ケーブル



D-sub ケーブル



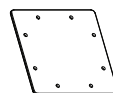
IR センサーケーブル



IR デイジー
チェーンケーブル



つまみねじ x 8



エッジアラインメント
キット (1) x 1



エッジアラインメント
キット (2) x 2

* 地域によって異なります。

ディスプレイデザインとアクセサリは、イラストと異なる場合があります。

メモ:

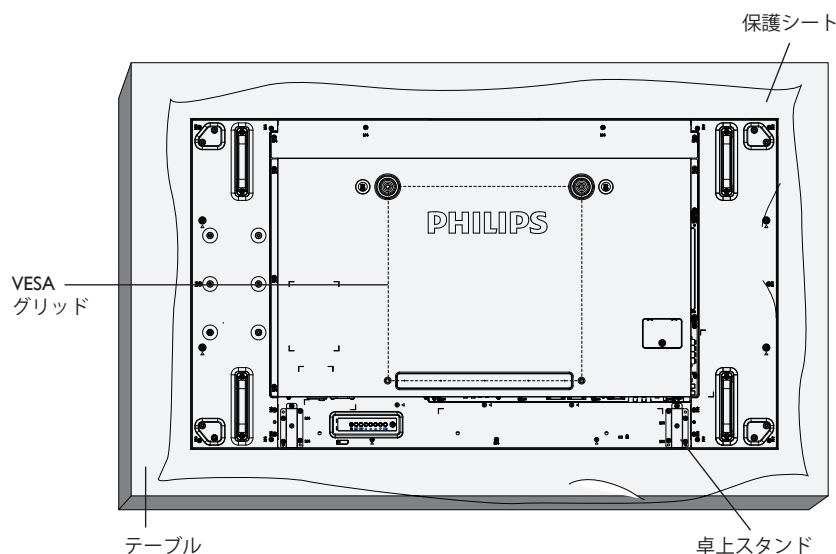
- 他のすべての地域の場合、コンセントの AC 電圧に一致し、特定の国の安全規制により承認され適合する電源コードを利用してください。
- ディスプレイを送送するために、段ボール箱とこん包材料を捨てずに保管するようにお勧めします。

1.3. 設置に関する注意

- 消費電力が高いため、本製品向けに特別に設計されたプラグを常に使用してください。延長コードが必要な場合、代理店にお問い合わせください。
- 製品は、転倒を避けるために平らな面に設置する必要があります。製品の後部と壁の距離は、適切な換気が保たれるように決める必要があります。電子部品の寿命が短くならないように、製品を台所、浴室または湿度の高い他の場所に設置するのは避けてください。
- 製品は、通常は 3000m 以下の高度でのみ操作されます。3000m 以上の高度に設置する場合、何らかの異常な状態が発生することがあります。

1.4. 壁に取り付ける

壁に本製品を取り付けるには、標準の壁取り付けキット（市販品）を購入する必要があります。北米では TUV-GS または UL1678 規格に準拠した取り付けインターフェースを使用することを推奨します。



1. 梱包時に本製品を覆っていた保護シートをテーブル上に敷き、画面表面に傷が付かないように画面表面を下にします。
2. 本製品を取り付けるため（壁掛け、天上取り付け、テーブルスタンドなど）のすべての付属品があることを確認してください。
3. 台取り付けキットに同梱の説明書に従ってください。正しい取り付け手順に従わない場合、装置の損傷、またはユーザーや取り付け作業者の怪我につながります。不適切な取り付けが原因の破損は、製品保証範囲に含まれません。
4. 壁取り付けキットには、M6 取り付けねじ（取り付けブラケットの厚さより 10mm 以上長いもの）を使用し、しっかりと締め付けてください。
5. 装置の重量（ベースなし）=24.35 kg。テスト中、装置とその取り付け手段は固定されたままです。UL に記載された壁取り付けブラケット（最小重量 / 荷重：24.35 kg）のみ使用。

1.4.1. VESA 規格取付穴

55BDL1007X	400 (横) × 400 (縦) mm
------------	----------------------

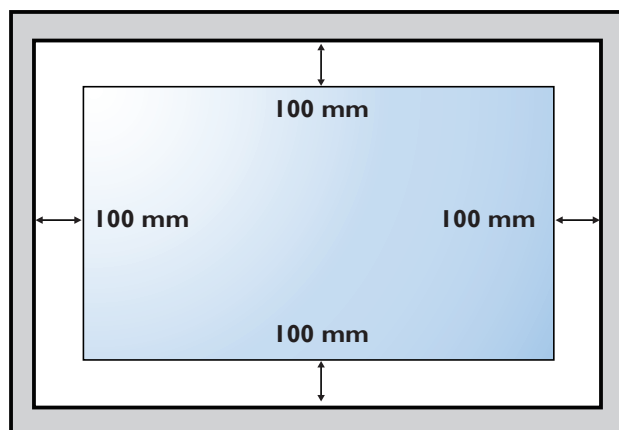
注意：

本製品の落下を防止するために：

- 本製品を壁または天井へ設置する場合は、市販の金属製ブラケットを使用して設置することを推奨します。設置の詳細説明については、それぞれのブラケットに付属のガイドを参照してください。
- 地震やその他天災が起きた際に、本製品の落下による怪我や破損の可能性を下げるため、設置場所については必ずブラケットメーカーに相談してください。

筐体の位置を決める際の換気要件

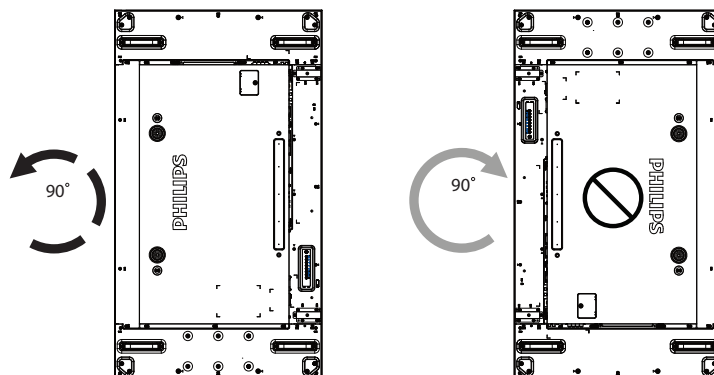
熱を消散できるように、以下の図に示すように、周囲の各物体の間にスペースを置いてください。



1.5. 縦向き設置について

本製品は、縦向きの位置に設置することができます。

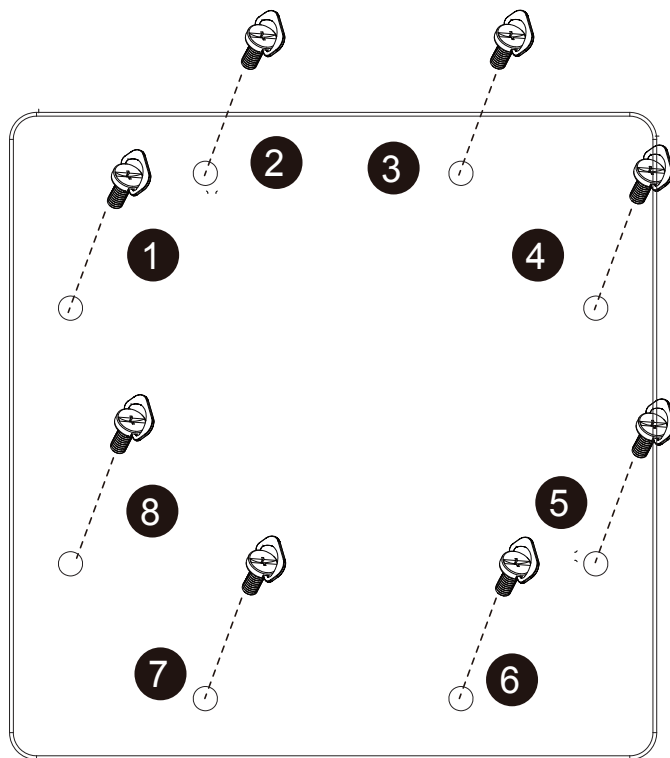
1. テーブルスタンドが取り付けられていれば、取り外します。
2. 90 度反時計回りに回転します。ディスプレイの後部を向けると、「**PHILIPS**」ロゴがいっぱいに広がります。



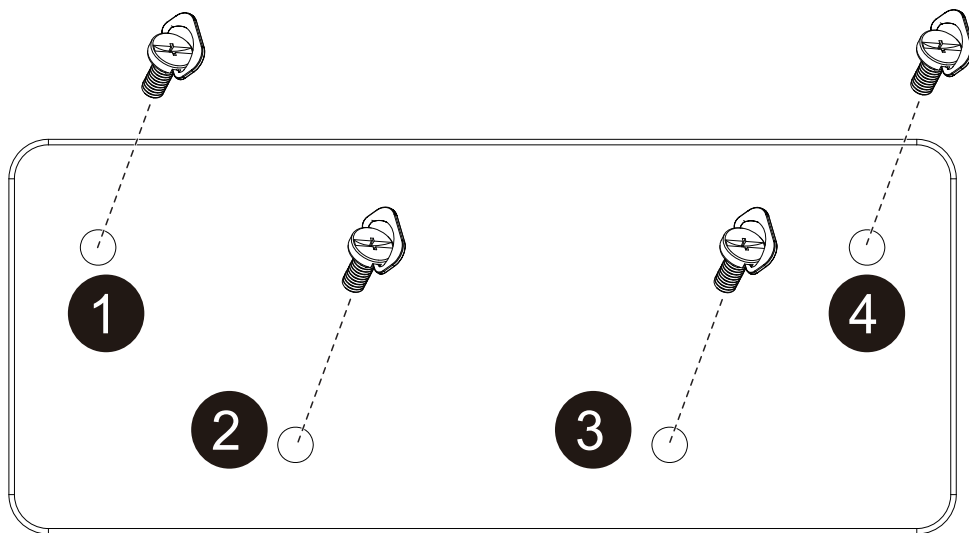
1.6. エッジアライメントキットの使用法

1.6.1. エッジアラインメントキットを取り付ける

- エッジアラインメントキットを取り付ける前に、ディスプレイを壁掛けビデオのフレームに正しく取り付ける必要があります。
- 「つまみねじ」を使い、簡単に取り付けられます。
- 隣接する4台のディスプレイに、「エッジアラインメントキット 1」を使用します。



- 隣接する2台のディスプレイに、「エッジアラインメントキット 2」を使用します。



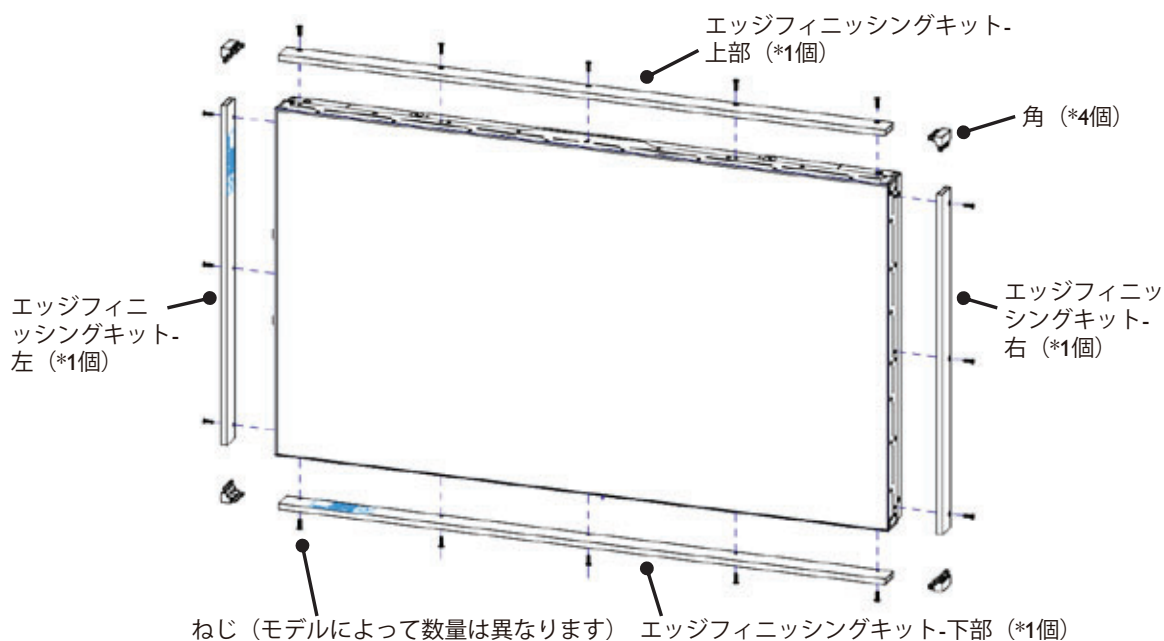
注記: エッジアラインメントキットを取り付ける際は、専門の設置業者に問い合わせてください。専門業者による設置をしなかった場合、当社は設置に対する賠償責任を一切負いません。

1.7. エッジフィニッシングキットの使用(オプション)

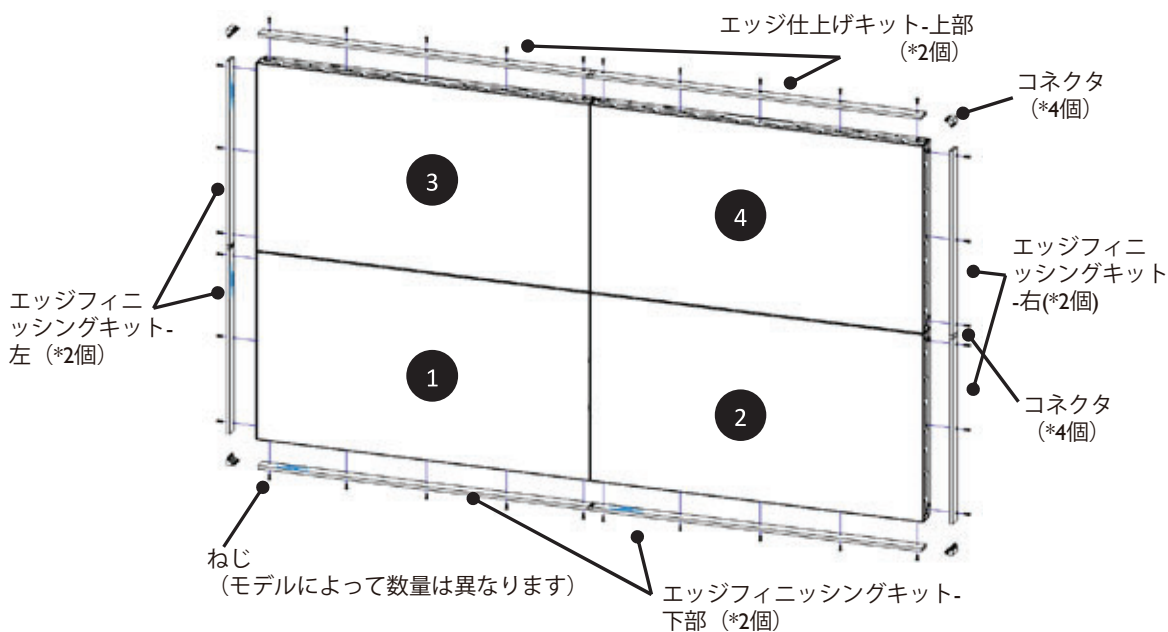
ディスプレイを保護して外観を良くするために、エッジフィニッシングキットを使用できます。

1.7.1. エッジフィニッシングキットを取り付ける

1x1 ディスプレイ構成へのエッジ仕上げキットの取り付け



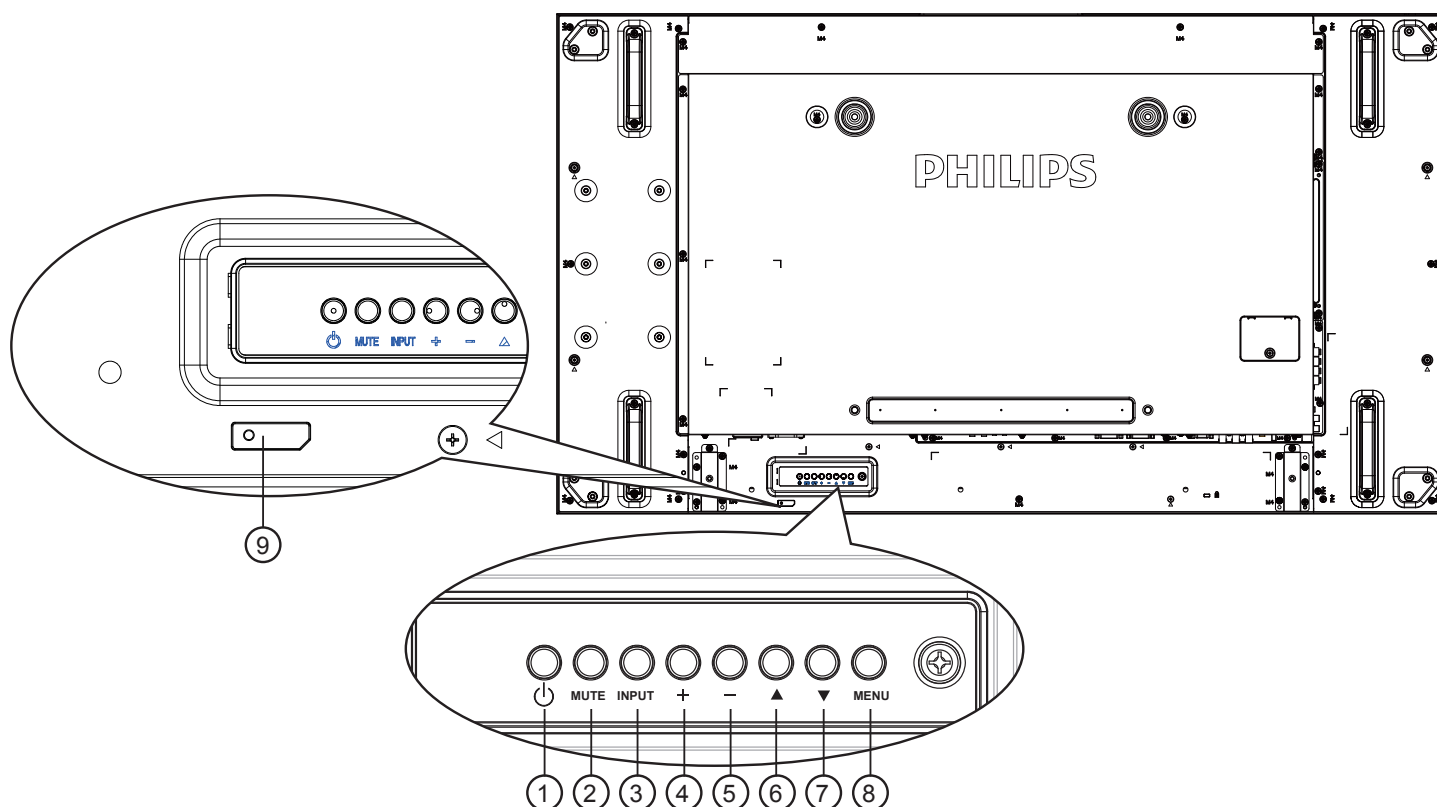
2x2 ディスプレイ構成へのエッジフィニッシングキットの取り付け



* 詳細については、キットのパッケージに付属する取り付けガイドを確認してください。

2. 各部の機能

2.1. コントロールパネル



① 【】 ボタン

ディスプレイの電源を入れたり、スタンバイにするときに使用します。

② [MUTE] ボタン

音声の消音 ON/OFF を切り替えます。

③ [INPUT] ボタン

入力ソースを選択します。

- ・ オンスクリーン ディスプレイ メニューでは「OK」ボタンとして使用します。

④ 【+】 ボタン

OSD メニューがオンの時には調整を上げ、OSD メニューがオフのときには、音声出力レベルを上げます。

⑤ 【-】 ボタン

OSD メニューが ON のときには調整を下げ、OSD メニューが OFF のときには音声出力レベルを下げます。

⑥ 【▲】 ボタン

OSD メニューが ON のとき、選択したアイテムを調整するにはハイライトバーを上げます。

⑦ 【▼】 ボタン

OSD メニューが ON のとき、選択したアイテムを調整するにはハイライトバーを下げます。

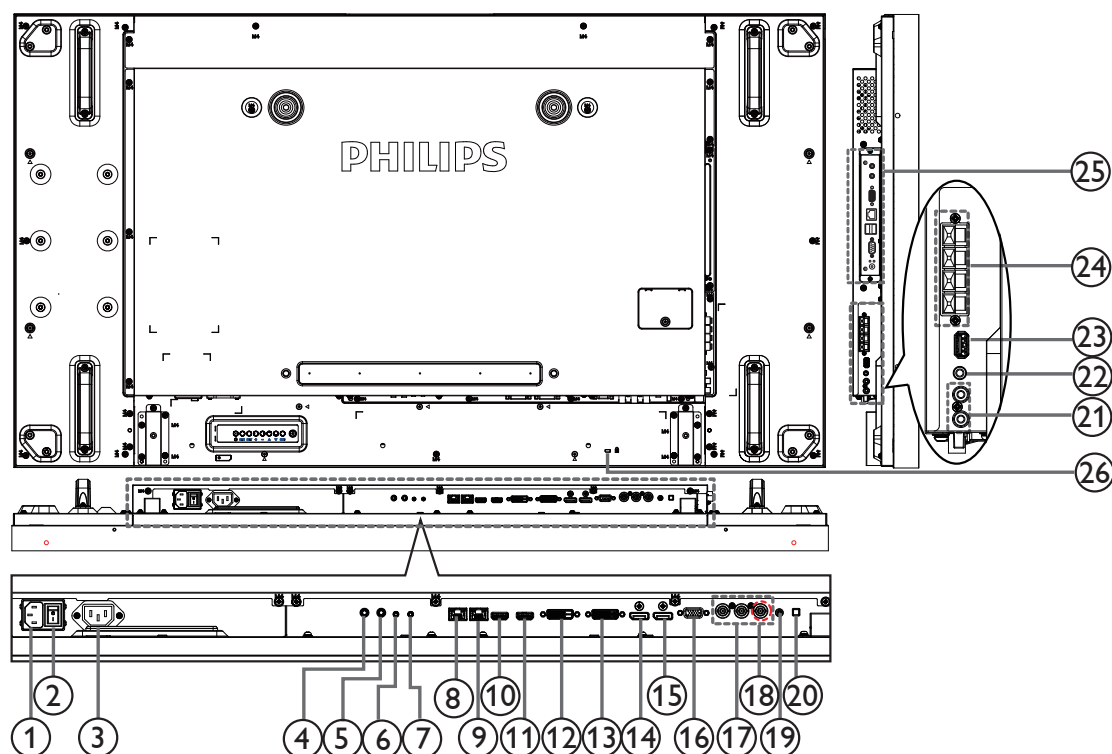
⑧ [MENU] ボタン

OSD メニューがオンになっている間に前のメニューに戻るか、OSD メニューがオフになったら OSD メニューをアクティブにします。

⑨ リモコンセンサーと電源ステータスインジケーター

- ・ リモコンからの指令信号を受信します。
- ・ OPS のない本製品の動作状態を表示します：
 - 本製品の電源がオンのとき緑色点灯する
 - 本製品がスタンバイモードのとき赤色点灯する
 - ディスプレイが APM モードに入ると、琥珀色点灯する
 - {スケジュール} が有効の場合は緑と赤色に点滅する
 - 赤色点滅の場合は故障の検出を示す
 - 本製品の主電源がオフの場合消灯する

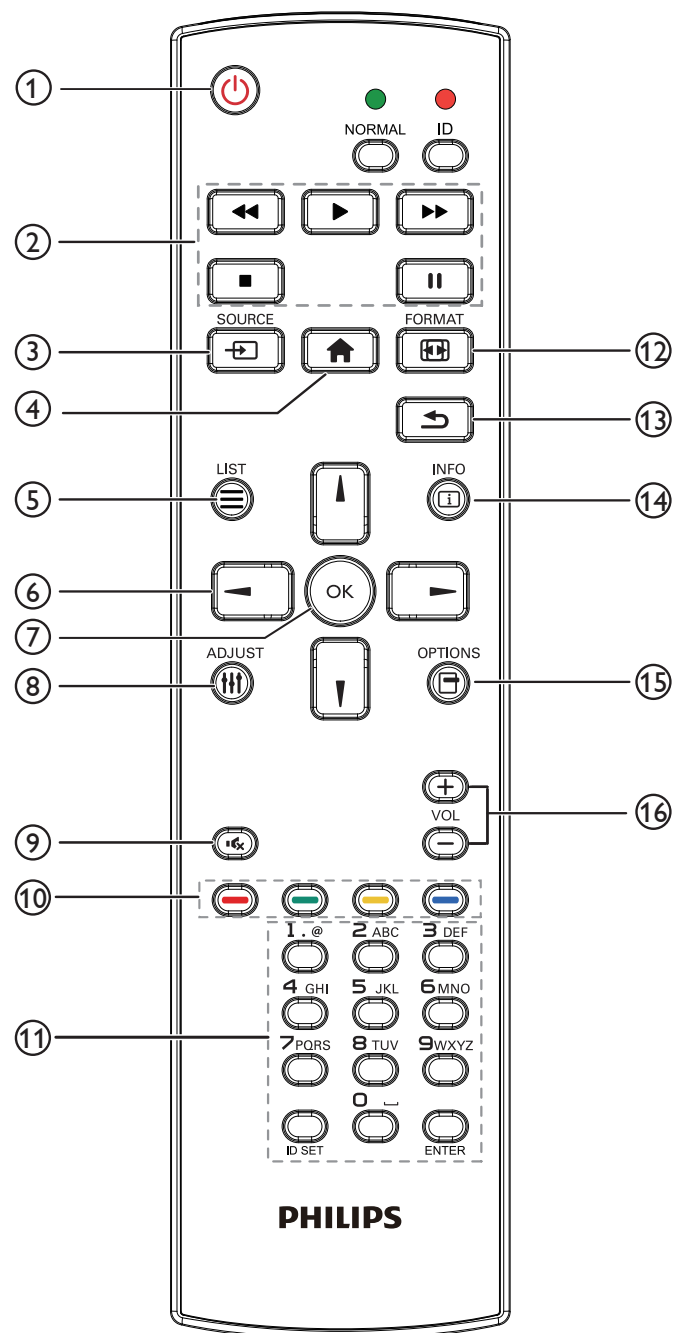
2.2. 入力 / 出力端子



- ① **AC 入力**
壁コンセントからの AC 電源入力。
- ② **主電源スイッチ**
主電源のオン / オフを切り替える。
- ③ **AC 出力**
メディアプレーヤーの AC 入力ジャックに AC 電力を供給します。
- ④ **IR 入力 / ⑤ IR 出力**
ループスルー機能向けの IR 信号入力 / 出力。
メモ:
 - ジャック [IR IN] が接続されている場合、本製品のリモコンセンサーは機能を停止します。
 - 本製品を使ってお持ちの AV 機器をリモート操作するには、17 f ページまたは IR パススルー接続を参照してください。
- ⑥ **RS232C 入力 / ⑦ RS232C 出力**
ループスルー機能向けの RS232C ネットワーク入力 / 出力。
- ⑧ **RJ-45**
コントロールセンターからリモコン信号を使用するための LAN 制御機能です。
- ⑨ **RJ-45**
コントロールセンターからリモコン信号を使用するための LAN 制御機能です。
- ⑩ **HDMI1 入力 / ⑪ HDMI2 入力**
HDMI ビデオ / 音声入力。
- ⑫ **DVI 入力**
DVI-D ビデオ入力。
- ⑬ **DVI 出力 / VGA 出力**
DVI または VGA ビデオ出力。
- ⑭ **DisplayPort 入力 (HDCP 1.3 対応) / ⑮ DisplayPort 出力**
DisplayPort ビデオ入力 / 出力。
- ⑯ **VGA 入力 (D-Sub)**
VGA ビデオ入力。
- ⑰ **コンポーネント入力 (BNC)**
コンポーネント YPbPr ビデオソース入力。
- ⑱ **Y/CVBS**
ビデオソース入力。
- ⑲ **音声入力**
VGA ソース用の音声入力 (3.5mm ステレオ電話)。
- ⑳ **スピーカースイッチ**
内部スピーカーオン / オフスイッチ。
- ㉑ **音声入力**
内部 AV デバイスからの音声入力 (RCA)。
- ㉒ **音声出力**
外部 AV 機器への音声出力。
- ㉓ **USB ポート**
USB ストレージデバイスを接続します。
- ㉔ **スピーカー出力**
外部スピーカへの音声出力。
- ㉕ **OPS スロット**
オプションの OPS モジュールを取り付けるためのスロット。
メモ: Advantech ARK DS262 または Winmate OMIS-OPS モジュールの使用を推奨します。その他の OPS モジュールについては保証しません。
- ㉖ **セキュリティロック**
安全および盗難防止用に使用します。

2.3. リモコン

2.3.1. 一般の機能



① [電源] 電源ボタン

ディスプレイをオンにしたり、スタンバイモードにします。

② [プレー] ボタン

メディアファイルの再生を操作します。

③ [SOURCE (ソース)] ボタン

入力ソースを選択します。[←] または [→] ボタンを押して、**USB、ネットワーク、インターネット、SmartCMS、HDMI 1、HDMI 2、DisplayPort、Card OPS、DVI-D、YPbPr、AV、VGA** から選択します。[OK] ボタンを押して確認し、終了します。

④ [ホーム] ボタン

OSD メニューにアクセスします。

⑤ [LIST] ボタン

機能しません。

⑥ [↑][↓][←][→] NAVIGATION ボタン

メニューを移動して項目を選択します。

⑦ [OK] ボタン

入力または選択を確定します。

⑧ [≡] ADJUST ボタン

現在選択可能なオプションを操作します。画像および音声メニュー用。

⑨ [M] 消音ボタン

消音機能をオン/オフで切り換えます。

⑩ [色] 色ボタン

タスクやオプションを選択します。

⑪ [番号 / ID 設定 / 入力] ボタン

ネットワーク設定の際にテキストを入力します。

ここを押して、ID を設定します。詳細については **2.3.2. リモコン ID (リモコン ID)** を参照してください。

⑫ [FORMAT] ボタン

画像フォーマットを変更します。

⑬ [BACK] ボタン

以前に選択したメニューに戻る、または以前の機能を終了します。

⑭ [i] INFO ボタン

現在実行しているアクティビティの情報を表示します。

⑮ [≡] OPTIONS ボタン

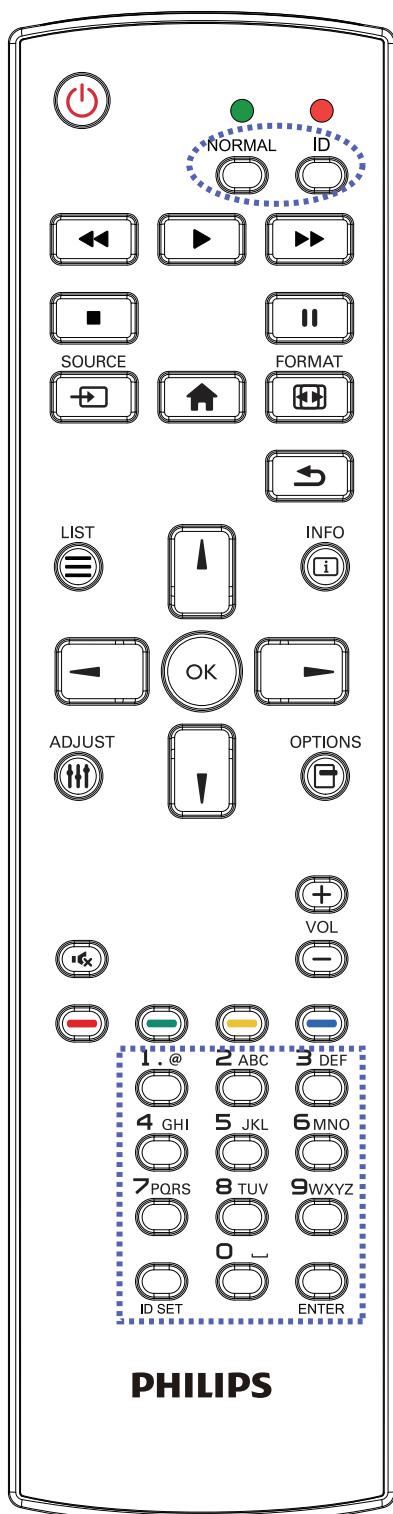
現在選択可能なオプションを操作します。画像および音声メニュー用。

⑯ [−][+] VOLUME (音量) ボタン

音量を調節します。

2.3.2. リモコン ID

複数のディスプレイの中の 1 つでこのリモコンを使用する場合には、リモコン用 ID を設定できます。



[ID] ボタンを押してください。赤い LED が 2 回点滅します。

1. ID モードに移行するためには、[ID 設定] ボタンを 1 秒以上押してください。赤い LED が点灯します。
[ID 設定] ボタンを再度押すと、ID モードを離れます。赤い LED が消えます。

[0] ~ [9] の数字を押して、コントロールしたいディスプレイを選択します。

例：ディスプレイ番号 1 では [0] と [1]、ディスプレイ番号 11 では [1] と [1] を押してください。

使用できる番号は [01] ~ [255] です。

2. 10 秒以内にどれかのボタンを押さないと、ID モードを離れます。
3. 数字以外のボタンを押してエラーが生じた場合には、赤い LED が消えて再度点灯してから 1 秒間待って、正しい数字を押してください。
4. [入力] ボタンを押して、承認してください。赤い LED が 2 回点滅して、消えます。

注記：

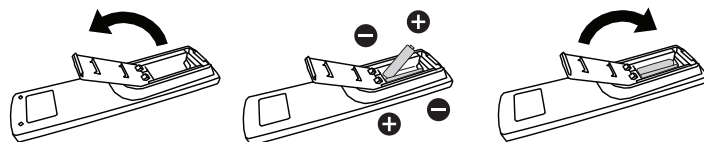
- [ノーマル] ボタンを押します。緑の LED が 2 回点滅して、ディスプレイが正常に作動していることを示します。
- ID 番号を選択する前に、それぞれのディスプレイで ID 番号を設定する必要があります。

2.3.3. リモコンに乾電池を挿入する

リモコンは 2 本の 1.5V 単 4 乾電池で作動します。

乾電池を取り付ける、または交換する：

1. カバーを押してスライドさせ、開けてください。
2. 電池ケース内の「+」と「-」に合わせて、乾電池を入れてください。
3. カバーを閉じてください。



注意：

乾電池を間違えて使用すると、液漏れまたは破裂することがあります。以下の指示に必ず従ってください：

- 単 4 乾電池の各乾電池の (+) と (-) 記号が、バッテリー収納部の (+) と (-) 記号に合うようにしてセットします。
- 違う種類の乾電池を一緒にして使用しないでください。
- 新しい乾電池と中古乾電池を一緒に使用しないでください。乾電池の寿命が短くなったり、液漏れの原因となります。
- 切れた乾電池は乾電池収納部に液漏れする原因となるため、直に取り出してください。肌にダメージを与えることがあるため、乾電池の漏れた酸に触れないでください。

注記： 長期間リモコンを使用する予定がない場合、乾電池を取り出してください。

2.3.4. リモコンの取り扱い

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水などの液体をリモコンにかけないでください。リモコンがぬれたときには、直ちに拭いて乾かしてください。
- 熱と蒸気を避けてください。
- 乾電池を入れるとき以外は、リモコンを開けないでください。

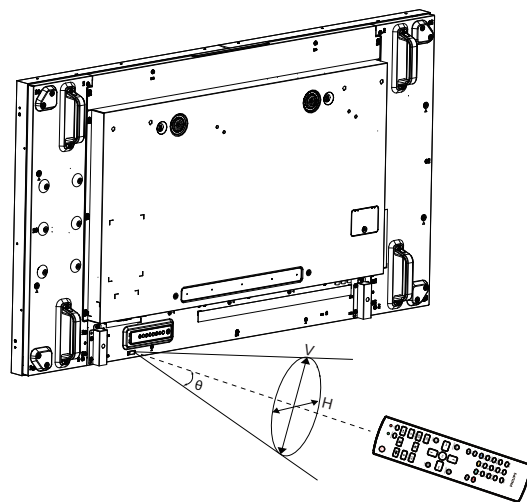
2.3.5. リモコンの動作範囲

ボタンを押すとき、リモコンを上部ディスプレイのコントロールセンサー（背面）に向けてください。

次の表に示した範囲内で、リモコンを使用してください。

動作角度	RC 動作距離
$\theta = 0^\circ$ (水平および垂直の場合)	$\geq 8\text{m}$
$\theta = 20^\circ$ (水平および垂直の場合)	$\geq 5\text{m}$
$\theta = 45^\circ$ (水平のみ)	$\geq 2\text{m}$

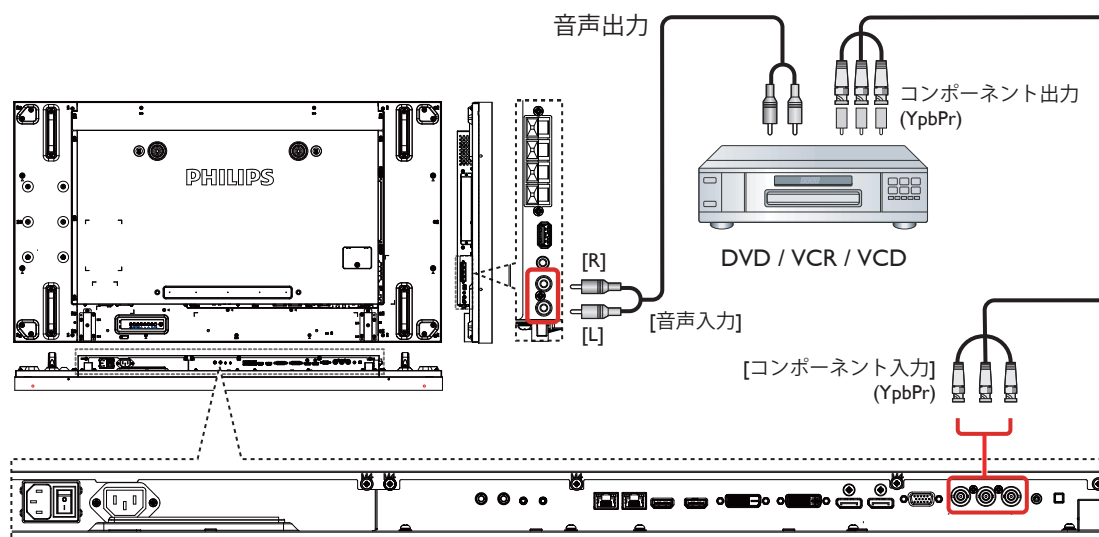
注記： ディスプレイのリモコンセンサーが直射日光や強い照明浴びていたり、または信号の経路に障害物がある場合には、リモコンが適切に作動しないことがあります。



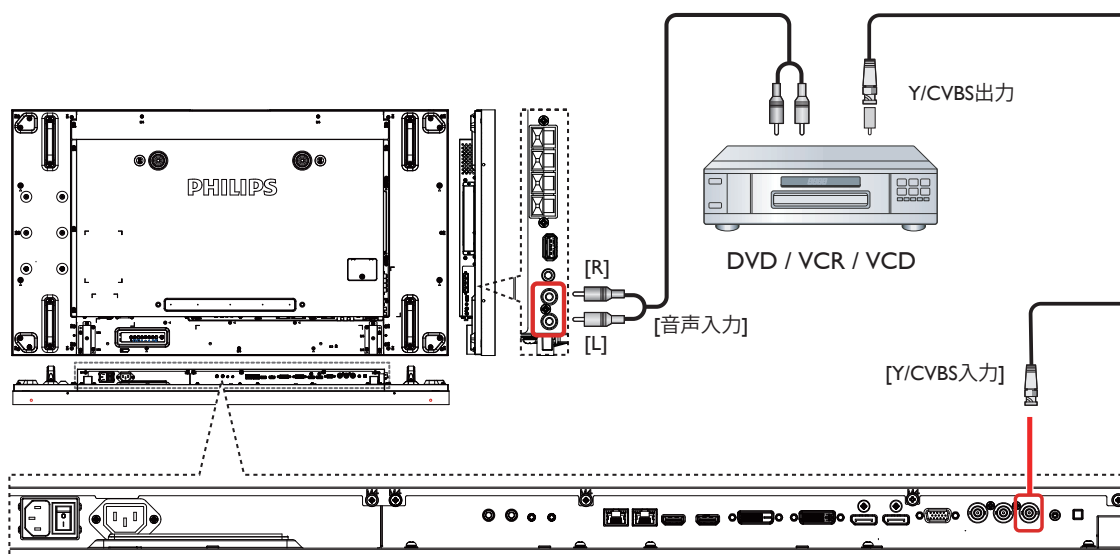
3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続

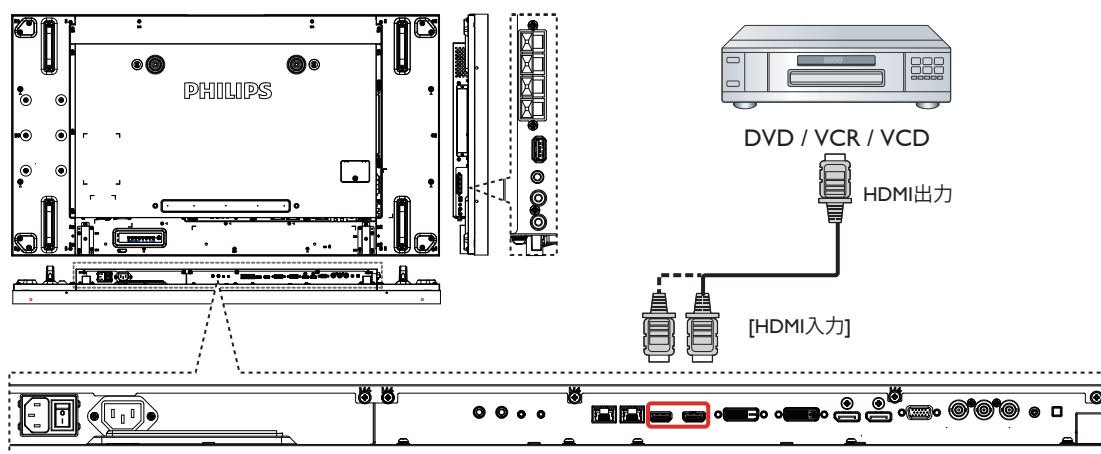
3.1.1. コンポーネントビデオ入力の使用



3.1.2. ビデオソース入力の使用

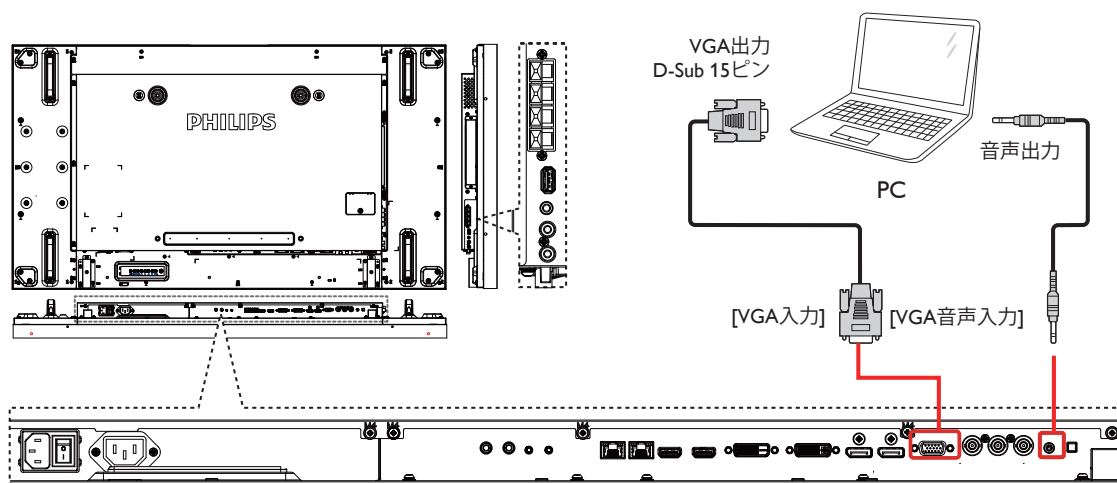


3.1.3. HDMI ビデオ入力の使用

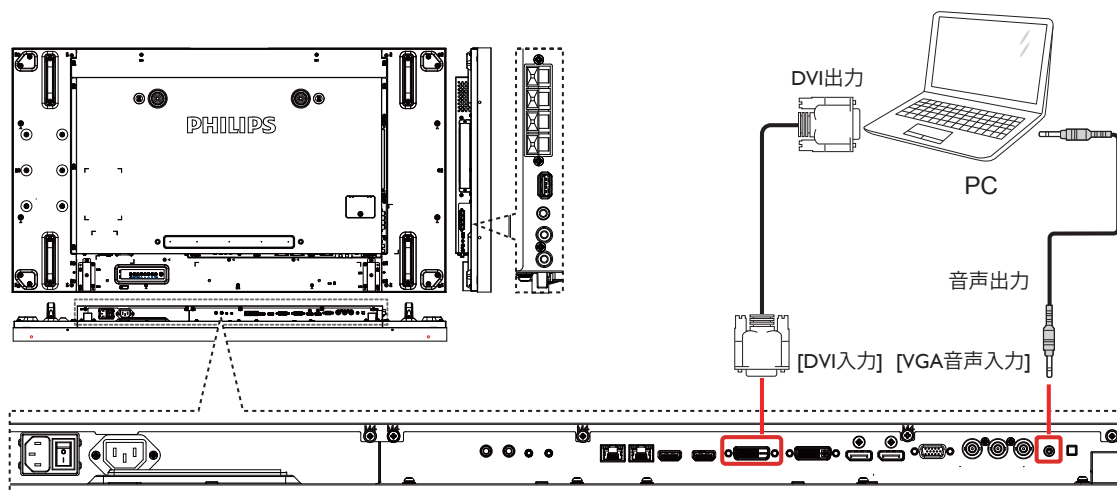


3.2. PC の接続

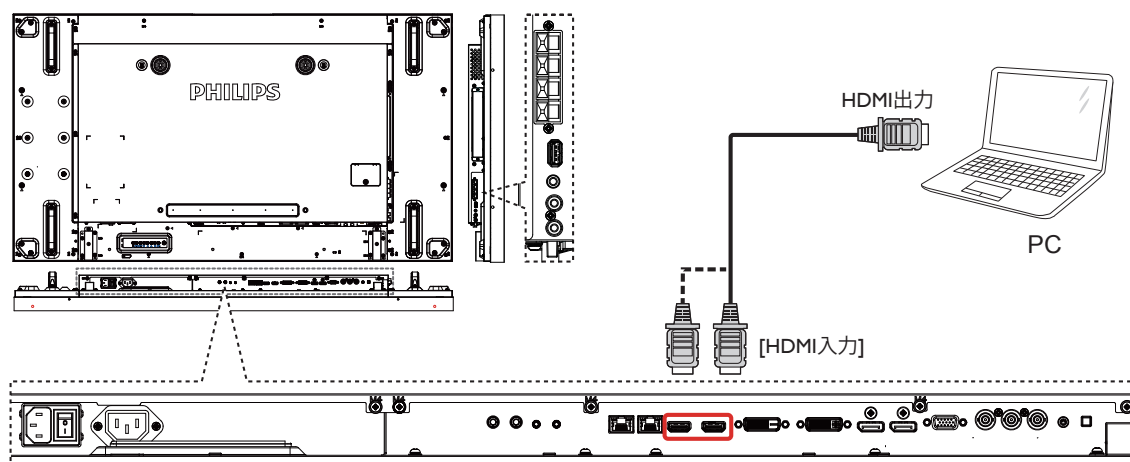
3.2.1. VGA 入力の使用



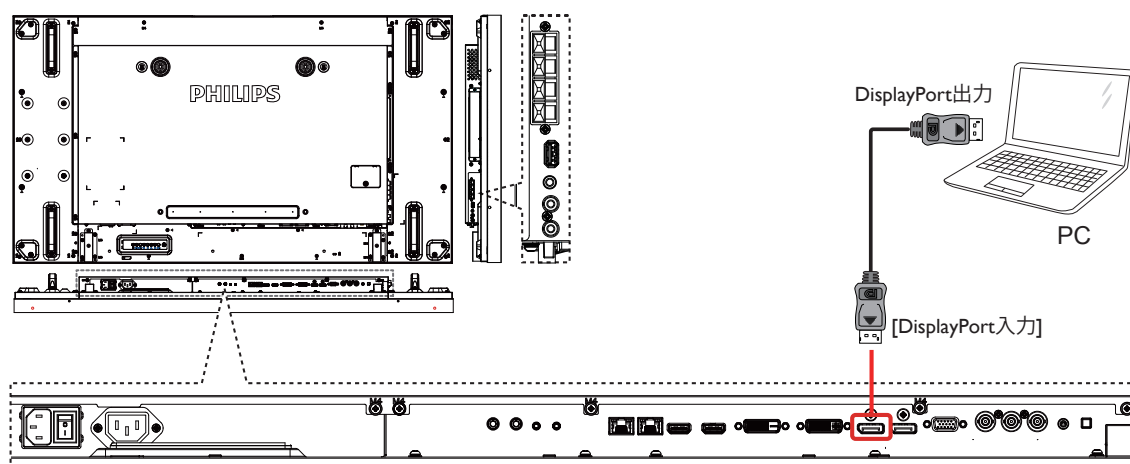
3.2.2. DVI 入力の使用



3.2.3. HDMI 入力の使用

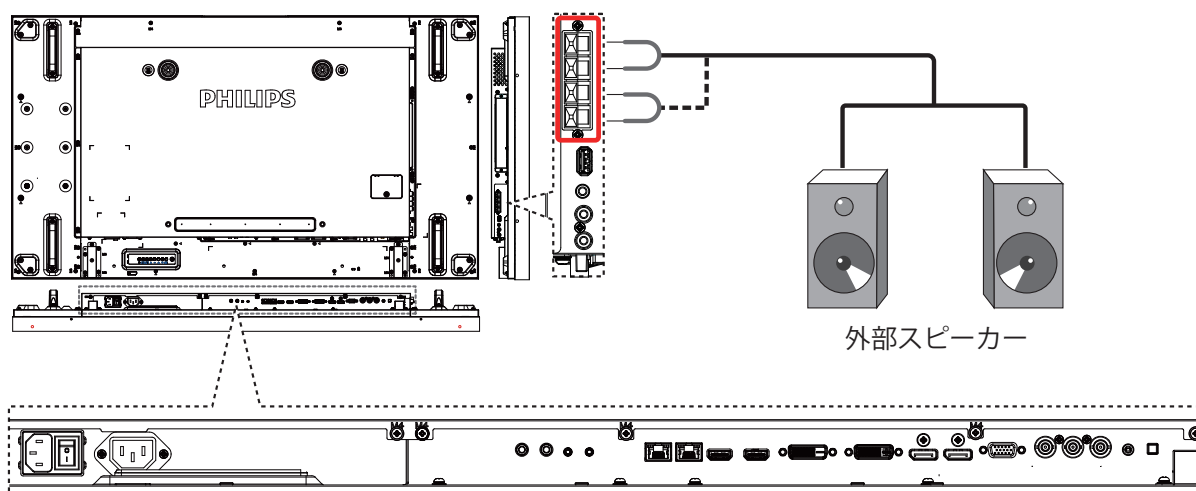


3.2.4. DisplayPort 入力の使用

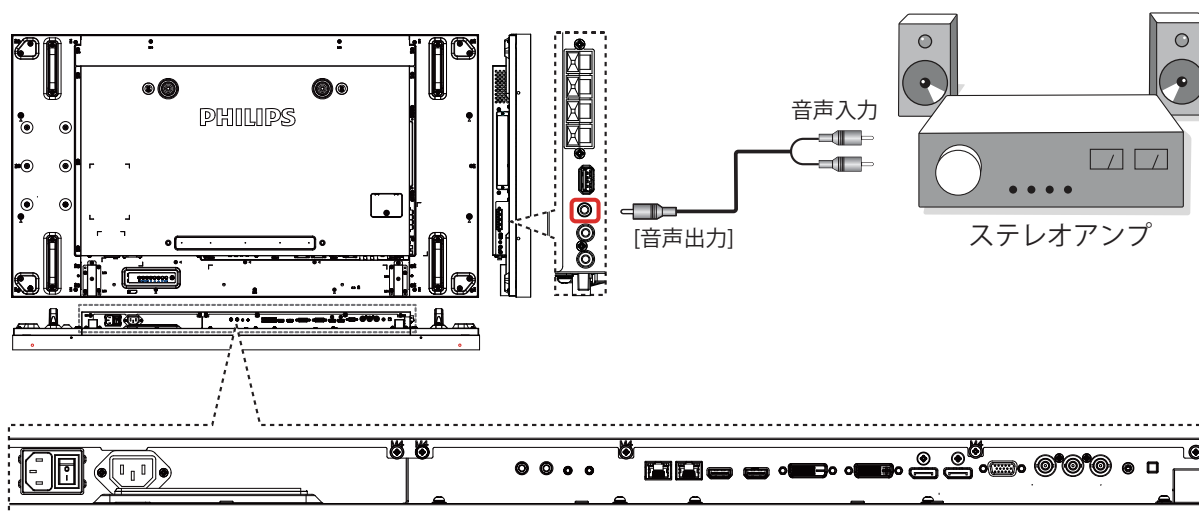


3.3. オーディオ機器の接続

3.3.1. 外部スピーカーの接続



3.3.2. 外部オーディオ装置の接続

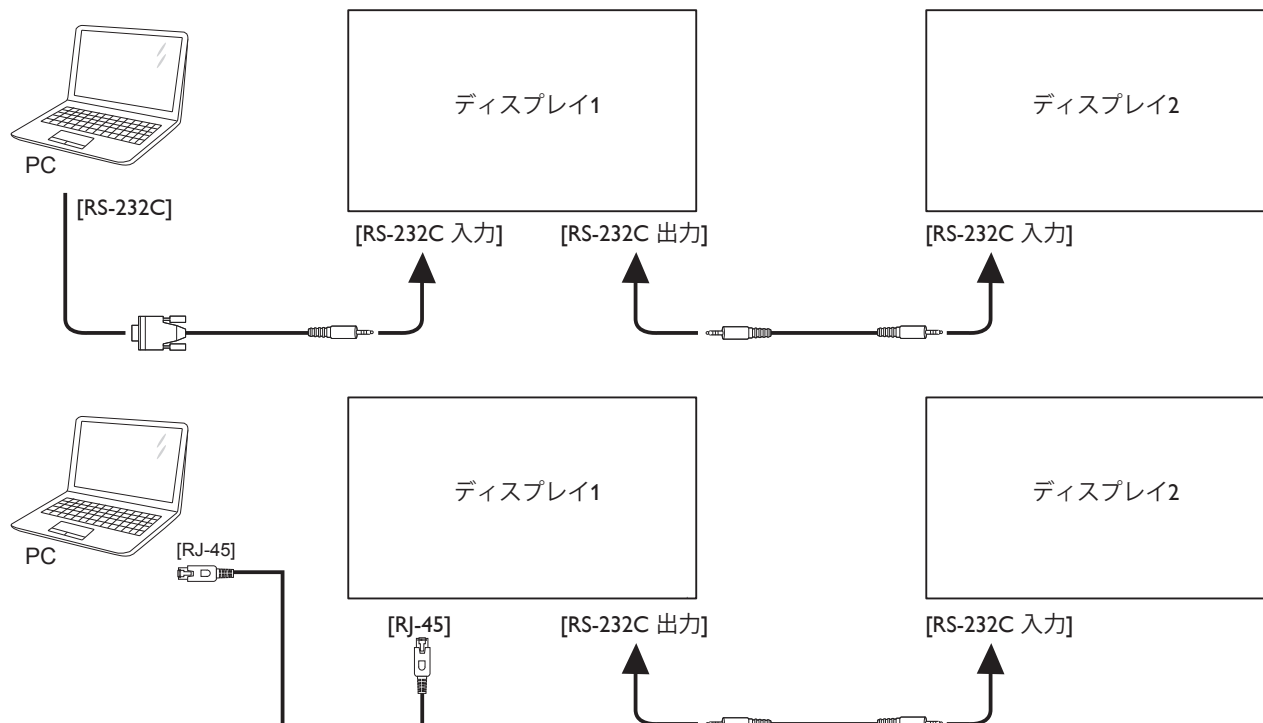


3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する

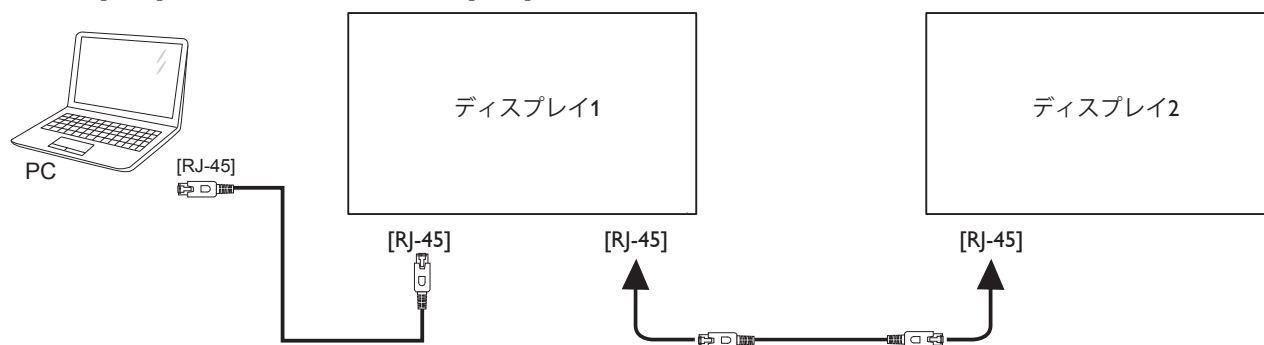
複数のディスプレイを相互接続し、壁掛けビデオなどの用途向けのデイジーチェーン構成を作成することが可能です。

3.4.1. ディスプレイコントロール接続

ディスプレイ 1 の [RS232C 出力] コネクタをディスプレイ 2 の [RS232C 入力] コネクタに接続します。

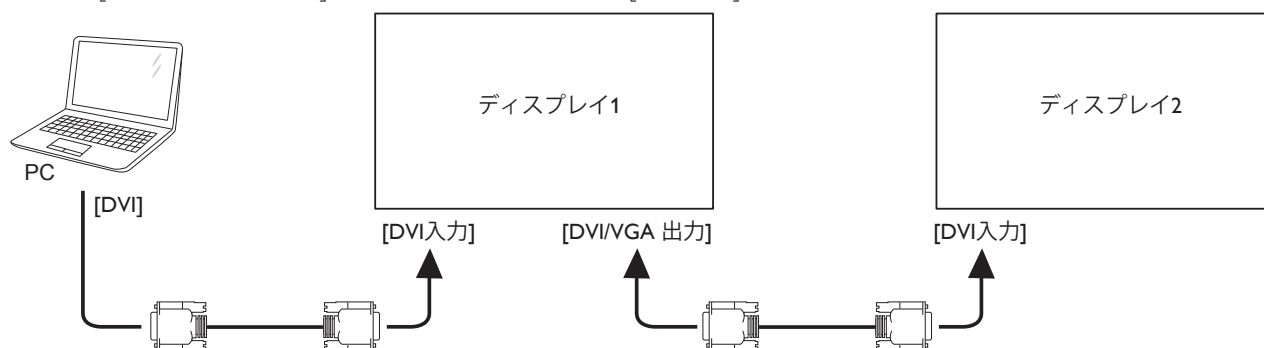


ディスプレイ1の[RJ-45]コネクタをディスプレイ2の[RJ-45]コネクタに接続します(イーサネットスイッチ)。

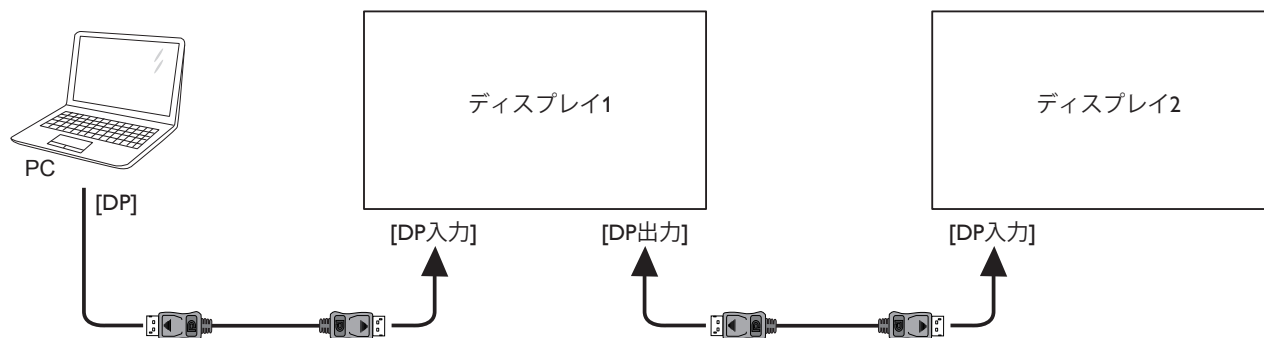


3.4.2. デジタルビデオ接続

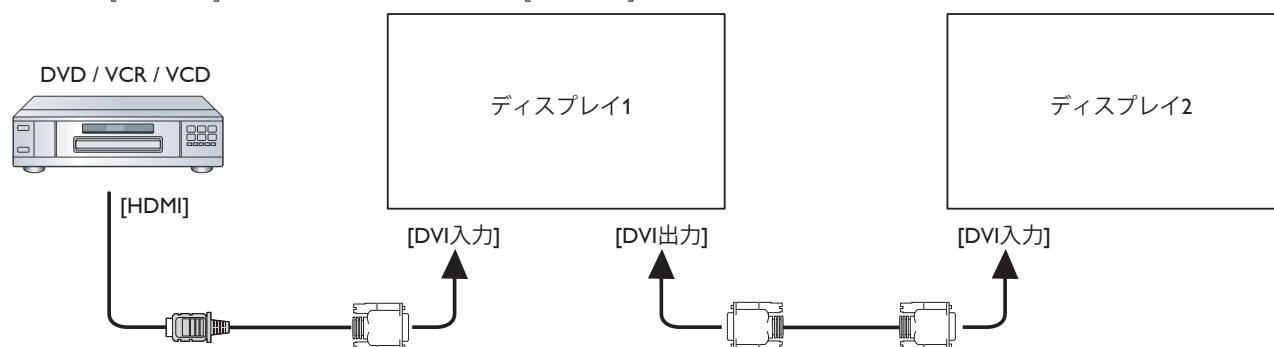
ディスプレイ1の[DVI 出力/VGA 出力]コネクタをディスプレイ2の[DVI 入力]コネクタに接続します。



ディスプレイ1の[DP 出力]コネクタをディスプレイ2の[DP 入力]コネクタに接続します。

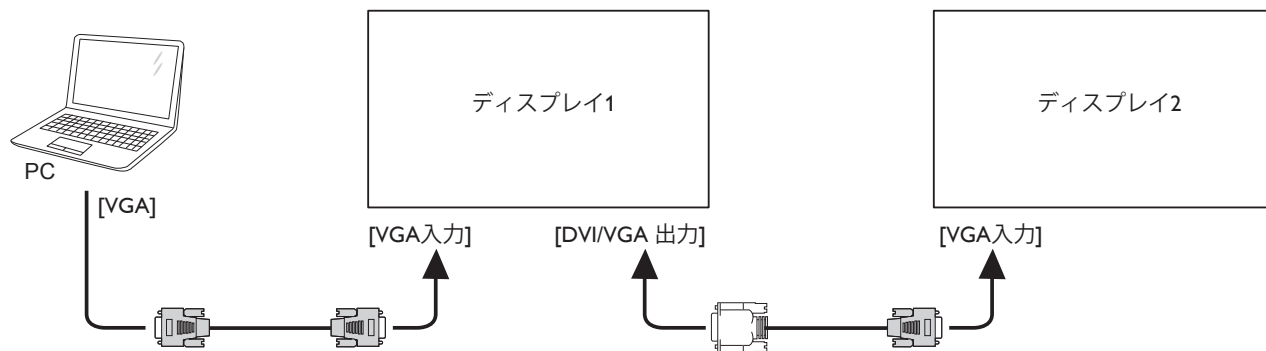


ディスプレイ1の[DVI 出力]コネクタをディスプレイ2の[DVI 入力]コネクタに接続します。



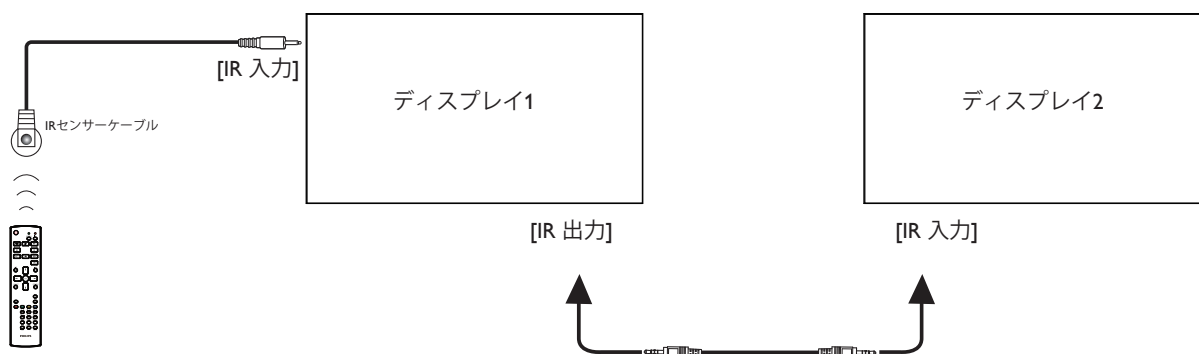
3.4.3. アナログビデオ接続

ディスプレイ1の[DVI 出力/VGA 出力]コネクタをディスプレイ2の[VGA 入力]コネクタに接続します。

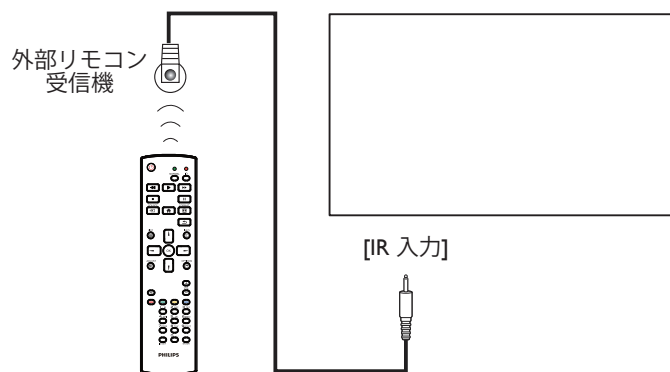


3.4.4. IR デイジーチェーン接続

[IR センサーケーブル] をディスプレイ1に接続し、ディスプレイ1の[IR 出力]コネクタをディスプレイ2の[IR 入力]コネクタに接続します。

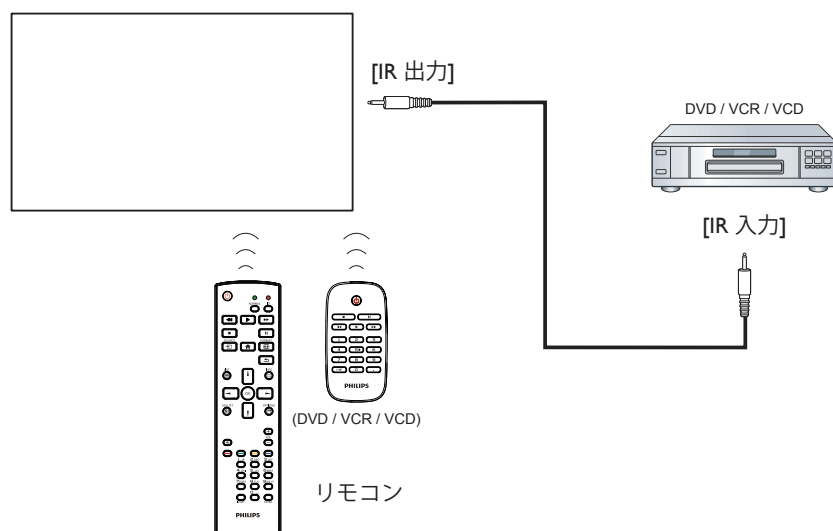


3.5. IR 接続



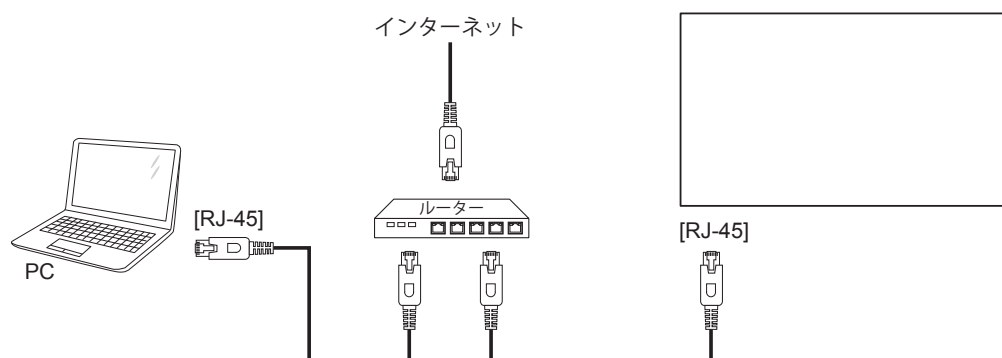
注記: [IR 入力] が接続されている場合、本製品のリモコンセンサーは機能を停止します。

3.6. IR パススルー接続



3.7. ケーブルを使ったネットワーク接続

本製品をホームネットワークに接続すると、お使いのコンピュータから写真や音楽、動画の再生ができます。詳細については「ローカルエリアネットワークを経由してマルチメディア ファイルを再生する」(18 ページ) を参照してください。



ネットワークを設定するには、

1. ルーターの電源を入れ、DHCP 設定を有効にします。
2. イーサネットケーブルを使って、ルーターを本製品に接続します。
3. リモコンの [🏠] ホーム ボタンを押した後に、**セットアップ** を選択します。
4. **ネットワークに接続する** を選択して、[OK] ボタンを押します。
5. スクリーン上の説明に従ってネットワークをインストールします。
6. 本製品がネットワーク接続を検出するまで待ちます。
7. 表示があれば、「エンドユーザーライセンス同意書」に同意します。




注記： EMC 指令に準拠するため、シールドされた CAT-5 イーサネットケーブルを使って接続してください。

4. 取り扱い

注記: この章で説明されている操作ボタンは、特に記述のない限りリモコン上にあるボタンを指します。

4.1. 接続されたビデオソースから見る




外部機器の接続に関しては、11 ページを参照してください。

1. **[] SOURCE** ボタンを押します。
2. **[]** または **[]** ボタンを押してデバイスを選択し、**[OK]** ボタンを押します。

4.2. 画像フォーマットを変更する

ビデオソースに合わせて画像フォーマットを変更することができます。それぞれのビデオソースに対して、使用可能な画像フォーマットがあります。

使用可能な画像フォーマットはビデオソースによって異なります。

1. **[] FORMAT** ボタンを押します。
2. **[]** または **[]** ボタンを押して画像フォーマットを選択し、**[OK]** ボタン。
 - **{オートズーム}**: スクリーンいっぱいに拡大します。スクリーンの歪みを最小にすることをお勧めします。HD や PC にはご利用できません。
 - **{16:9}**: 4:3 形式を 16:9 形式に調整します。HD や PC にはご利用できません。
 - **{ワイド}**: ワイドスクリーン形式を、コンテンツを拡大せずに表示します。HD や PC にはご利用できません。
 - **{DOT BY DOT}**: PC 画像の細部が最大限に表示されます。**{画像}** メニューで PC モードを選択した時のみ利用できます。
 - **{4:3}**: 従来の 4:3 形式で表示します。
 - **{CUSTOM ZOOM(カスタムズーム)}**: 選択すると、画像およびエッジサブメニューにカスタムズーム設定が適用されます。

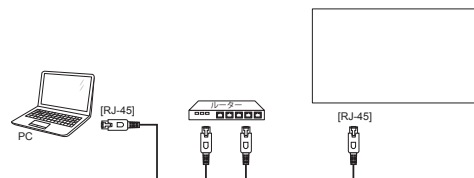
4.3. ローカルエリア ネットワークを経由してマルチメディア ファイルを再生する

ローカルエリア ネットワークを経由してファイルを再生するには、以下が必要です。

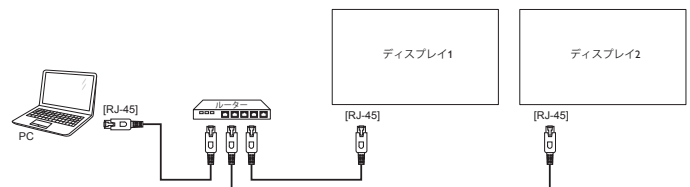
- ホームネットワーク接続。ユニバーサル プラグアンドプレイ (uPnP) 対応ルーターに接続します。
- オプション: 本製品をホームネットワークに接続するための LAN ケーブル。
- コンピュータで稼働するメディアサーバー。
- メディアサーバーを実行可能にするコンピュータのファイアウォール設定の適用。

4.3.1. ネットワークの設定

1. 本製品とコンピュータを同じホームネットワークに接続します。ディスプレイをネットワークに接続するには、下のイラストを参照してください。
2. コンピュータとルーターの電源を入れます。
 - **単一ディスプレイの設定**



• 複数ディスプレイでの設定



注記: 外部からの電氣的妨害(例: 静電放電)により本製品が DLNA モードに戻らない場合は、ご自身で戻して頂く必要があります。

メディア共有を設定する

1. メディアファイルを共有するため、コンピュータにメディアサーバーをインストールします。以下はメディアサーバーの一例です。
 - PC 用: Windows Media Player 11 (またはそれ以上) および TVersity
 - Mac 用: Twonky
2. メディアサーバーを使って、コンピュータ上のメディア共有を有効にします。メディアサーバーの詳しい設定方法については、メディアサーバー元のサイトを参照して下さい。


4.3.2. DLNA-DMP の使い方

ネットワークに接続していることを確認します。



[i] ボタンを押し、ネットワークの接続を表示できます。

HDMI 1 1080p60		26/09/2014 金曜日 09:32:00	
画像フォーマット	ワイド	画像スタイル	標準
音声スタイル	パーソナル	スマートパワー	オフ
音量	0	モニターグループ	1
モニターID	1	モード名	55BDL1007X
SW バージョン	1.51	シリアル番号	
温度	25°C	ネットワーク設定	DHCP および自動
IP アドレス	192.168.1.116	ネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1	ネットワーク名	55BDL1007X
MAC アドレスを入力する	FF:FF:FF:FF:FF:FF		

画面上でファイルを再生する


1. **[] SOURCE (ソース)** ボタンを押して、**ネットワーク** を選択し **[OK]** ボタンを押します。

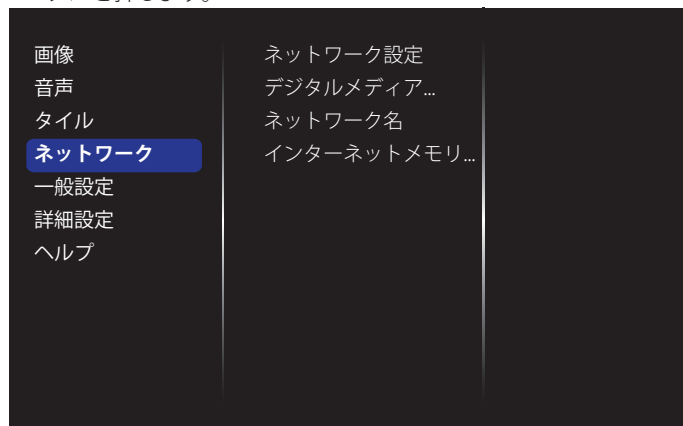


2. スクリーン上に同じルーターに接続されている全ての PC が表示されます。必要な PC を選択します。
3. **[]** と **[]** を押して再生するディレクトリとファイルを選択します。

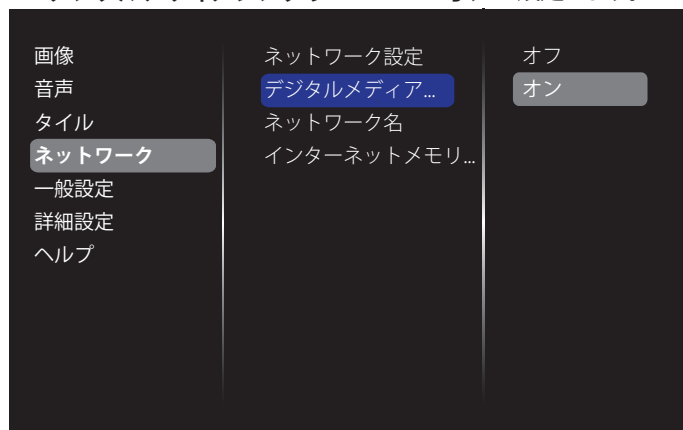
4. 同じ PC に最大 4 台までのディスプレイを接続して、同じメディアストリームを再生することができます。

4.3.3. PC から DLNA-DMR を使うには

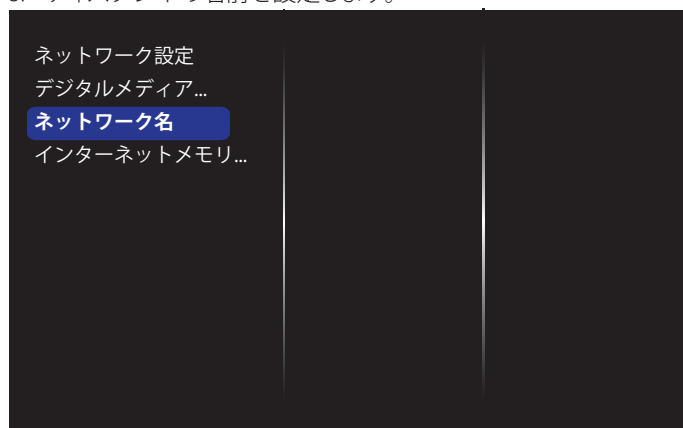
1. [] HOME ボタンを押して、ネットワークを選択し [OK] ボタンを押します。



2. デジタルメディアレンダラ - DMR をオンに設定します。



3. ディスプレイの名前を設定します。




4. [] ホームボタンを押して、[] SOURCE (ソース) ボタンを押します。次に、ネットワークを選択して [OK] ボタンを押します。
5. PC 上で **Network and Sharing Center** を開いて **Choose homegroup and sharing options** をクリックし


ます。

6. メディア形式を確認します。**Choose media streaming options....** をクリックします。
7. **Advanced sharing settings** を開き、**Turn on network discovery** を選択します。
8. 次に、メディアファイルのディレクトリに移動します。右クリックしてメディアファイルを選択します。**Play To** のサブメニューに、ネットワークに接続されている全てのディスプレイが表示されます。ディスプレイを選択して、再生するメディアファイルをクリックします。

ファイルを再生する

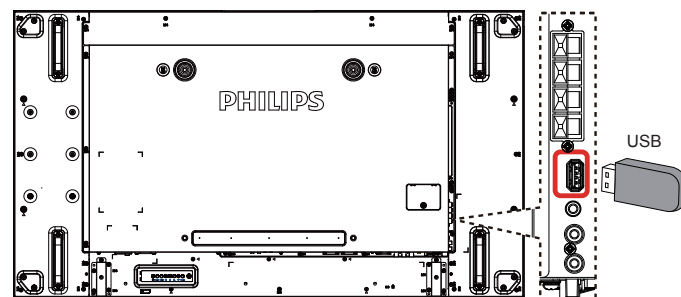
1. [] SOURCE (ソース) ボタンを押します。
2. ネットワークを選択して [OK] ボタンを押します。
3. コンテンツ ブラウザからファイルを選択し、[OK] ボタンを押して再生します。
4. 再生を操作するには、リモコン上にある [再生] ボタンを押します。

ヒント:

- ファイルの種類でファイルを絞り込むには、トップバーを選択します。
- **Sort (ソート)** を選んで、アルバム名やアーティスト名、その他のフィールド毎に並び替えます。
- 接続されていないメディアサーバーを非表示にするには、[] OPTIONS ボタンを押します。その後、**Clear offline servers (オフラインサーバーの消去)** を選択して [OK] ボタンを押します。

4.4. USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する

1. 本製品の USB ポートに USB デバイスを接続します。



2. [] SOURCE (ソース) ボタンを押して、USB を選択し [OK] ボタンを押します。



3. 接続されている USB デバイスが自動的に検出され、中にある再生可能な全てのファイルが 3 つのタイプに自動的に分けら

れます。**Music**、**Movie**、そして**Photo**です。

4. スクリーンの最上層に戻るには、**BACK** ボタンを押します。ファイルのタイプを選択するには **[←]** または **[→]** ボタンを押します。再生リストを表示するには **[OK]** ボタンを押します。
5. 必要なファイルを選択します。再生するには **[OK]** ボタンを押します。
6. スクリーン上の説明に従って再生オプションを操作します。
7. **[再生]** ボタン (H F G I J) を押して再生を操作します。

4.5. 再生オプション

4.5.1. 音楽ファイルの再生

1. トップバーの **Music** を選択します。



2. 曲を一曲選択して **[OK]** ボタンを押します。
 - フォルダー内にある全ての曲を再生するには、音楽ファイルをひとつ選択します。その後 **[→]** を押して **Play All** を実行します。
 - 次の曲や前の曲をスキップするには、**[↑]** または **[↓]** ボタンを押します。
 - 曲を一時停止するには **[OK]** ボタンを押します。再生を再開するには、もう1度 **[OK]** ボタンを押します。
 - 前後に10秒間スキップするには **[←]** または **[→]** ボタンを押します。
 - 順方向や逆方向に検索するには、**[G]** または **[J]** ボタンを押します。異なる速度でトグルするには繰り返して押し続けます。
 - 音楽を停止するには **[H]** ボタンを押します。

音楽オプション

音楽の再生中に **[☰]** **OPTIONS** ボタンを押し、その後 **[OK]** ボタンを押してオプションを選択します。

- {Shuffle (シャッフル)}: 曲のランダム再生を有効または無効にします。
- {Repeat (リピート)}: 曲またはアルバムを繰り返して再生するには {Repeat (リピート)} を選択し、一回のみ再生するには {Play once} を選択します。

注記: 曲の情報 (例: 曲名、アーティスト名、長さ) を表示するには、曲を選択して **[i]** **INFO** ボタンを押します。情報を非表示にするには、もう1度 **[i]** **INFO** ボタンを押します。

4.5.2. Movie ファイルの再生

1. トップバーの **Movie** を選択します。



2. 動画を選択して **[OK]** ボタンを押します。
 - フォルダー内にある全ての動画を再生するには、動画ファイルをひとつ選択します。その後 **[→]** を押して **Play All** を実行します。
 - 動画を一時停止するには **[OK]** ボタンを押します。再生を再開するには、もう1度 **[OK]** ボタンを押します。
 - 前後に10秒間スキップするには **[←]** または **[→]** ボタンを押します。

- 順方向や逆方向に検索するには、**[G]** または **[J]** ボタンを押します。異なる速度でトグルするには繰り返して押し続けます。
- 動画を停止するには **[H]** ボタンを押します。

Movie オプション

動画の再生中に **[☰]** **OPTIONS** ボタンを押し、その後 **[OK]** ボタンを押してオプションを選択します。

- {字幕}: 使用可能なサブタイトル設定を選択します。
- {字幕言語}: 可能な場合、サブタイトルの言語を選択します。
- {Shuffle (シャッフル)}: 動画ファイルのランダム再生を有効または無効にします。
- {Repeat (リピート)}: 動画ファイルを繰り返して再生するには {Repeat (リピート)} を選択し、動画ファイルを一回のみ再生するには {Play once} を選択します。
- {ステータス}: 動画の情報 (例: 再生位置、長さ、タイトル、日付) を表示するには。

4.5.3. 写真ファイルの再生

1. トップバーの **Photo** を選択します。



2. サムネイル表示された写真を選んで **[OK]** ボタンを押します。

スライドショーを開始する

フォルダーに写真が複数ある場合は、写真を一枚選択します。その後その後 **[→]** を押して **Play All** を実行します。

- 前後の写真をスキップするには **[←]** または **[→]** ボタンを押してから **[OK]** ボタンを押します。
- スライドショーを停止するには **[H]** ボタンを押します。

スライドショー オプション

スライドショーの再生中に **[☰]** **OPTIONS** ボタンを押し、その後 **[OK]** ボタンを押してオプションを選択します。

- {Shuffle (シャッフル)}: スライドショーでの画像のランダム表示を有効または無効にします。
- {Repeat (リピート)}: スライドショーを繰り返して鑑賞するには {Repeat (リピート)} を選択し、一回だけ鑑賞するには {Play once} を選択します。
- {Slideshow Time (スライドショー時間)}: スライドショーで表示する写真の表示時間を選びます。
- {Slideshow Transitions (スライドショートのランジション)}: 次の写真に変わる時の切り替わり方を選びます。

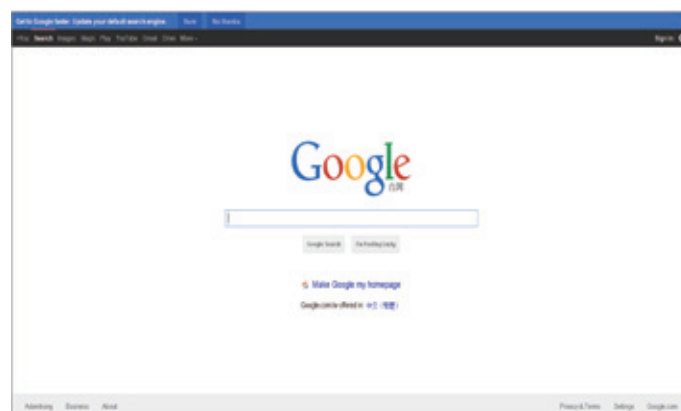
4.6. Opera ブラウザ (HTML5) の使い方

LAN ラインを確認して、ネットワークに接続されているか確認します。

1. **[☰]** **SOURCE (ソース)** ボタンを押し、**インターネット** を選択して **[OK]** ボタン。

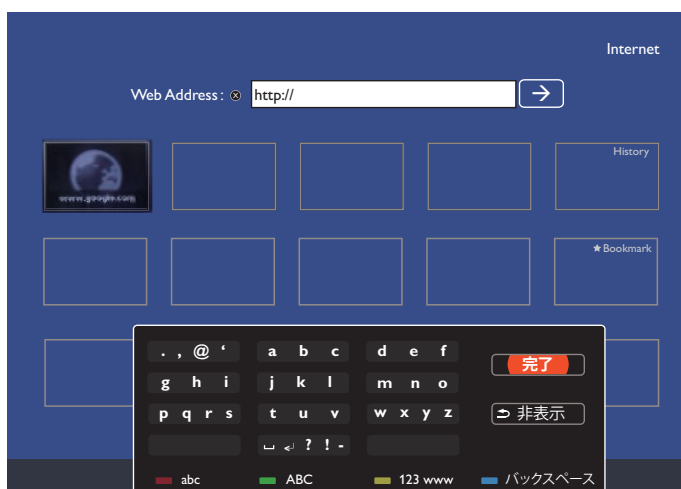


2. カーソルを URL アドレスバーまで移動させます。[OK] ボタンを押すとスクリーン上にキーボードが表示されます。カーソルを動かして URL アドレスを入力します。URL アドレスの入力が終了したら**完了**を選びます。

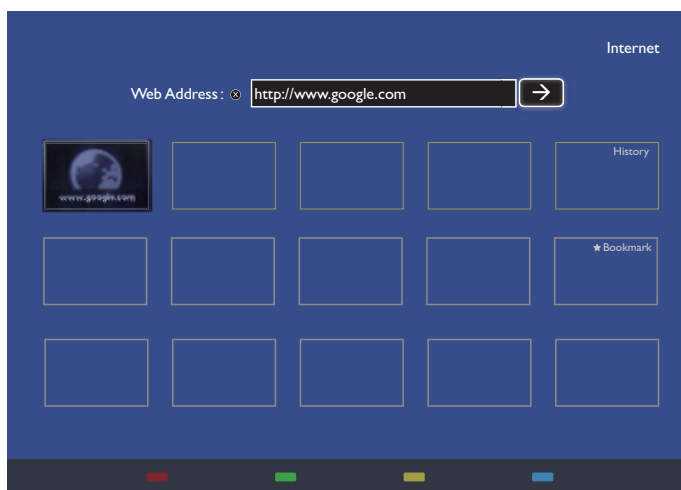


メモ：

- Opera ブラウザ は FLASH 形式に対応していません。
- ブラウザはビデオソースではありません。本製品を再起動した後、ブラウザのスクリーンには戻りません。



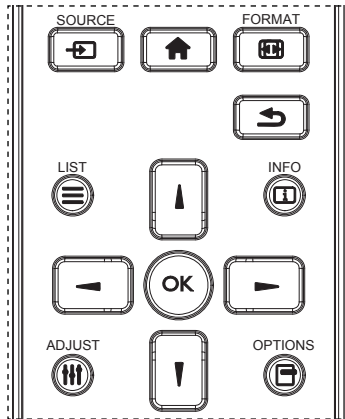
3. カーソルを「→」アイコンに移動して [OK] ボタンを押します。



4. これで、ウェブサイトが表示されるようになります。

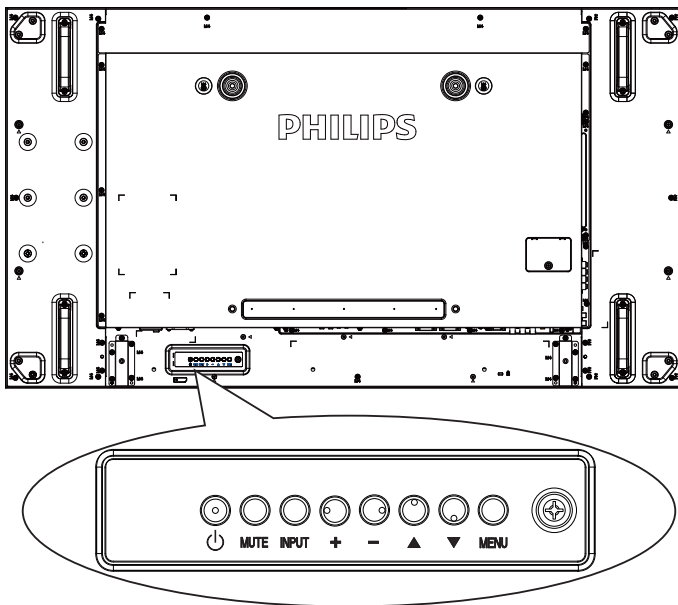
5. 設定を変更するには

リモコンを使用する



1. リモコン上の[**HOME**]ボタンを押してOSDメニューを表示します。
2. [**▲**]または[**▼**]ボタンを押して、調整したい項目を選択します。
3. [**OK**]または[**▶**]ボタンを押してサブメニューに入ります。
4. サブメニュー内では、[**▲**]または[**▼**]ボタンを押して項目を切り替えて、[**▶**]または[**▶**]を押して設定を調整します。サブメニューがある場合には、[**OK**]または[**▶**]ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. [**◀**]ボタンを押して前のメニューに戻るか、[**HOME**]ボタンを押してOSDメニューを終了します。

ディスプレイのコントロール ボタンを使用する

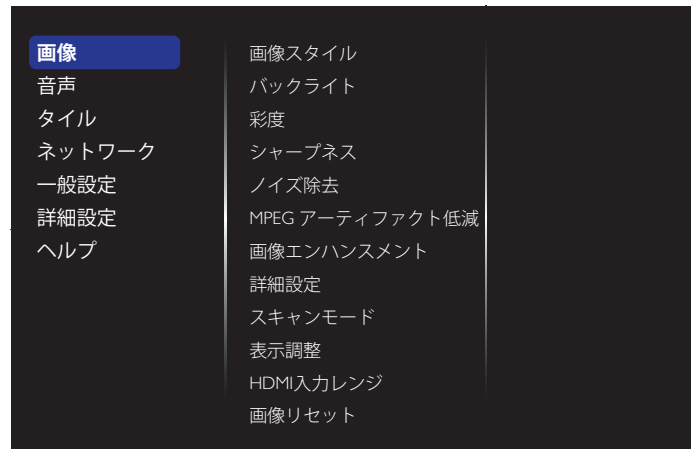


1. OSDメニューを表示するには[**MENU**]ボタンを押します。
2. [**▲**][**▼**][**+**]または[**-**]ボタンを押してメニュー項目を選択、または値を調整します。
3. [**INPUT**]ボタンを押して、選択したメニューを確定し、サブメニューに入ります。
4. OSDメニューを退出するには[**MENU**]ボタンを押します。

5.1. 設定

[**HOME**]ホームボタンを押します。

5.1.1. 画像



画像スタイル

好みの画像設定を選びます。

バックライト

本製品のバックライトの明るさを調節します。

彩度

画像の彩度を調整します。

シャープネス

画像の鮮明さを調整します。

ノイズ除去

画像のノイズ除去の度合いを選びます。

MPEG ブロックノイズリダクション

デジタル画像のトランジションやぼやけを滑らかにします。

画像エンハンスメント

周囲の画素に馴染むように全ての画素を微調整することで、鮮明で高解像度な画像を作成します。

- ・ { **高度なシャープネス** } : 優れた画像鮮明度で、特に画像の線や輪郭に有効です。
- ・ { **ダイナミックコントラスト** } : 画像の暗いエリア、中位のエリア、明るいエリアの詳細をダイナミックに補強します。
- ・ { **色強調** } : 色彩の鮮明さと詳細をダイナミックに補強します。

詳細設定

ガンマ、色合い、動画のコントラストなどの詳細設定にアクセスします。

- ・ { **ガンマ** } : 画像の輝度やコントラストに関連した非線形性の設定を調節します。
- ・ { **色温度** } : カラーバランスを変更します。
- ・ { **カスタム色合い** } : カラーバランスの設定をカスタマイズします。{ **色温度** } → { **カスタム** } が選択されている場合のみ使用できます。
- ・ { **映像のコントラスト** } : 動画のコントラストを調整します。
- ・ { **明るさ** } : スクリーンの明るさを調整します。
- ・ { **色相** } : スクリーンの色合いを調整します。

スキャンモード

本製品の画像領域を変更します。

表示調整

- ・ { **画像フォーマット** } : 画像フォーマットを変更します。
- ・ { **ズーム** } : 画像の縦と横のサイズを同時に拡大します。

- ・ { **水平ズーム** } : 画像の水平サイズのみを拡大します。
- ・ { **垂直ズーム** } : 画像の垂直サイズのみを拡大します。

注記: ズーム、水平ズーム、垂直ズームは画像フォーマット設定が CUSTOM ZOOM に設定されている時のみ機能します。

画像フォーマットに関する記述は 18 ページを参照してください。

HDMI 入力レンジ

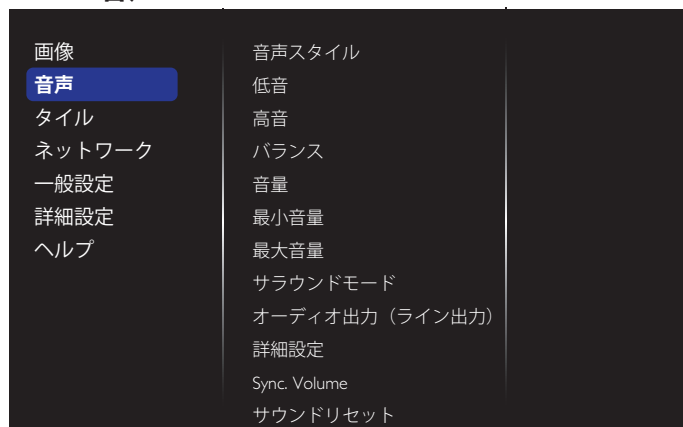
HDMI ビデオ形式の色範囲

- ・ { **自動** } : 自動的に HDMI ビデオ形式の色範囲。
- ・ { **リミット** } : HDMI ビデオ形式のリミット範囲を選択する。
- ・ { **フル** } : HDMI ビデオ形式のフル範囲を選択する。

画像リセット

画像設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.2. 音声



音声スタイル

お好みの音声設定にアクセスします。

低音

低音の増減を調整します。

高音

高音の増減を調整します。

バランス

左右の音声出力のバランスの強弱を調整します。

音量

ボリュームの増減を調整します。

最小音量

最小音量を設定します。

最大音量

最大音量を設定します。

サラウンドモード

オーディオパフォーマンスのサラウンド効果を設定します。

オーディオ出力(ライン出力)

音声出力の音量を調節します。

詳細設定

詳細設定にアクセスして視聴体験を向上させます。

- ・ { **オートボリューム** } : 突発的な音量変更の軽減を有効にします。
- ・ { **スピーカ設定** } : 内部スピーカーの電源をオンまたはオフにします。

- ・ { **クリアサウンド** } : 音質を向上させます。
- ・ { **オーディオ出力形式** } : デジタル音声出力コネクタを通して、音声出力タイプを選びます。(HDMI のみ)
- ・ { **オーディオ出力遅延** } : ディスプレイに表示されている画像を、接続したホームシアターからの音声と自動的に同期させます。
- ・ { **音声出力オフセット** } : 音声出力の遅延に関する設定を調節します。{ **音声出力遅延** } が有効になっている場合に使用できます。

Sync. Volume(同期音量)

選択し、音量同期機能の { オン } と { オフ } を切り替えます。音量機能。{ オン } に設定すると、内部スピーカーとライン出力の音量が同期されます。{ オフ } に設定すると、内部スピーカーとライン出力の音量がそれぞれ調整されます。

サウンドリセット

デフォルト設定にリセットします。

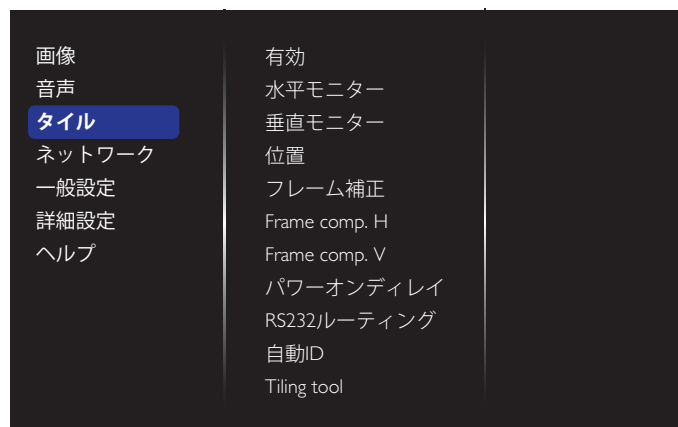
カード OPS オーディオ

OPS 音声出力形式を設定する場合に選択します。

オプションは次の通りです。{ **自動** }、{ **アナログ** }、{ **デジタル** }

注記: Card OPS ソースを選択した時に、この項目が OSD メニューに表示されます。

5.1.3. Tiling (タイル)



この機能を使うと、最大 100 台のディスプレイ (縦に最大 10 台、横に最大 10 台) からなるひとつの大型スクリーン配列 (ビデオウォール) で作成することができます。

有効

タイル機能の { オン } または { オフ } を選択します。{ オン } の場合、本製品は { **水平モニター** }、{ **垂直モニター** }、{ **位置** }、および { **フレーム補正** }。

水平モニター

横列のディスプレイを調節します。

垂直モニター

縦列のディスプレイを調節します。

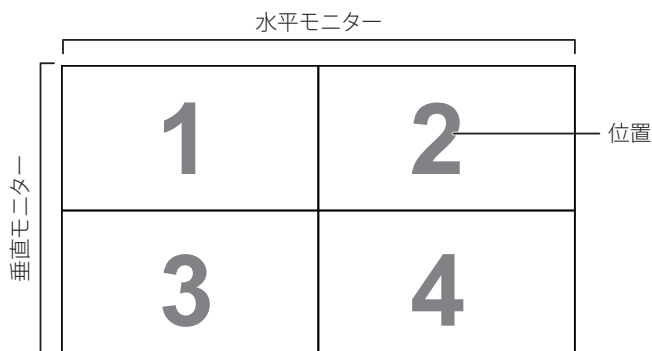
位置

スクリーン配列でディスプレイの位置を調節します。

例：2 × 2 の画面マトリックス (ディスプレイ 4 台)

水平モニター = ディスプレイ 2 台

垂直モニター = ディスプレイ 2 台

**例：5 × 5 の画面マトリックス (ディスプレイ 25 台)**

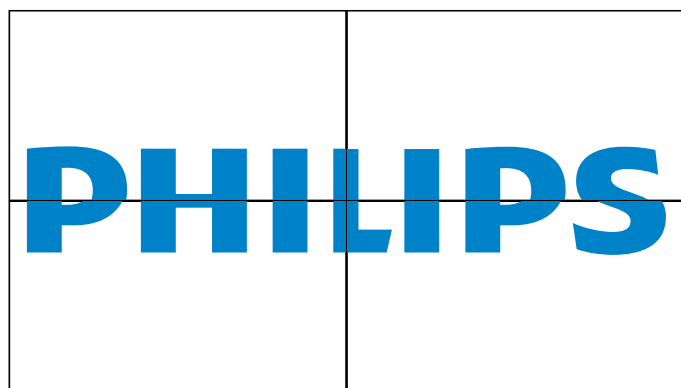
水平モニター = ディスプレイ 5 台

垂直モニター = ディスプレイ 5 台

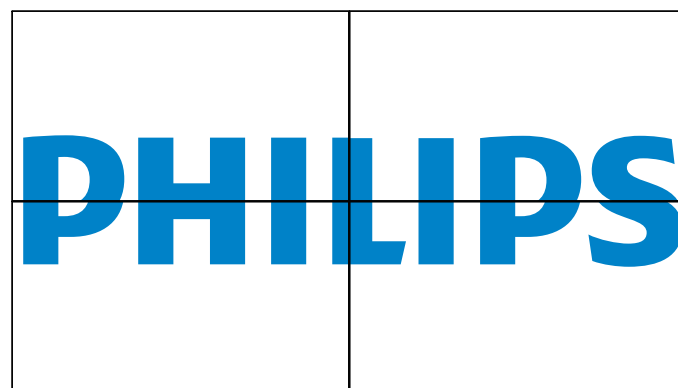
**フレーム補正**

フレーム補正機能のオンまたはオフを選択します。{ オン } を選択した場合、画像を正確に表示するためにディスプレイは画像を調整してディスプレイのベゼル幅を補正します。

{ オン }



{ オフ }

**Frame comp.H (フレーム補正)**

水平フレーム補正幅を調整します。

Frame comp.V

垂直フレーム補正幅を調整します。

パワーオンディレイ

パワーオンディレイ時間 (秒) を調節すると、複数のディスプレイが接続されている場合に、ID 番号ごとに各ディスプレイの電源を順番に入れることができます。

RS232 ルーティング

制御ポートを選択します。

- {RS232}: RS232 制御を選択します。
- {LAN(RJ-45)}: LAN 制御を選択します。
- {IR}

複数のディスプレイが RS232C 接続を通して接続されている場合、リモコンの動作モードを選択します。

- { リモコンモード }
- { ノーマル }

すべてのディスプレイを、リモコンで正常に動作させることができます。

- {Primary}

このディスプレイを、リモコン操作の 1 次ディスプレイとして指定します。リモコンでは、このディスプレイのみを操作できます。

- {Secondary}

このディスプレイを 2 次ディスプレイとして指定します。このディスプレイはリモコンでは操作できず、RS232C 接続を通して 1 次ディスプレイからの制御信号のみを受信します。

- {Control Monitor-ID}

RS232C 接続経由で本製品を操作するためにリモコンモードの ID 番号を選択します。

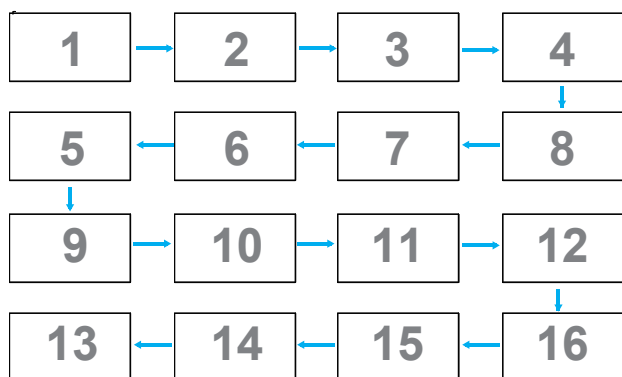
- {Card OPS RS232}:

RS232 制御を選択します。(OPS が開始されている場合にのみ利用できます。)

自動 ID

設定機能では { 水平モニター } 設定に従って、接続されたマシンの { モニター ID } を設定することができます。

例：水平モニターを 4 に設定



注記: この機能を使用するには、すべてのマシンを RS-232 ケーブルでシリアル接続し、そのネットワーク制御ポートを RS-232 に設定します。

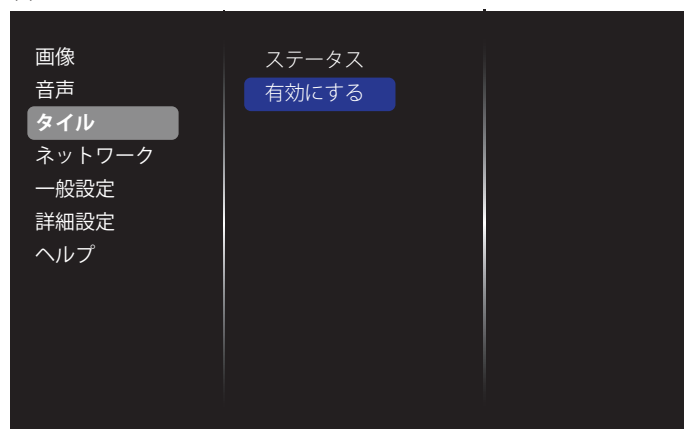
注記: この機能を DP 1.2 接続に使用する場合、最大解像度は 1920x1080/60Hz @ 4 セット ni のみ対応します。4Kx2K/30Hz 解像度の場合、2 セット接続にのみ対応します。

Tiling tool

Tiling tool 機能を有効にするには、販売店から購入した有効キーを入力してください。



(1) 有効化メニューに入ります



(2) 有効キーを OSD に入力します



(3) [OK] ボタンを押すとスクリーン上にキーボードが表示されます。カーソルを動かして有効キーを入力します。完了したら**完了**を選択します。

注記: リモコンの黄色いキーを押してください。入力が数字に切り替わります。



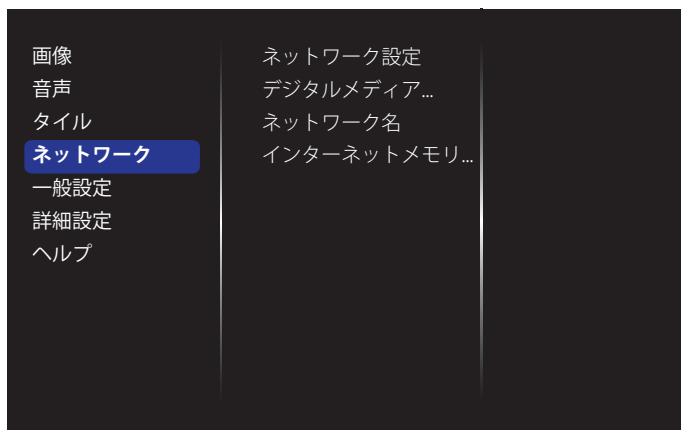
(4) Tiling tool 有効化メッセージ



(5) OSD で Tiling tool のステータスを確認



5.1.4. ネットワーク



ネットワーク設定

- ・ { ネットワーク設定 } : 本製品のネットワーク リソースへのアドレスの割り当て方を選択します。
{DHCP および自動 IP} (推薦) または { スタティック IP } を選択できます。
- ・ { ネットワークタイプ } : 有線(デフォルト)を選択してネットワークタイプを設定します。

デジタルメディアレンダラ - DMR

ネットワークを経由して、接続されたデバイスからマルチメディア ファイルを受信します。

ネットワーク名

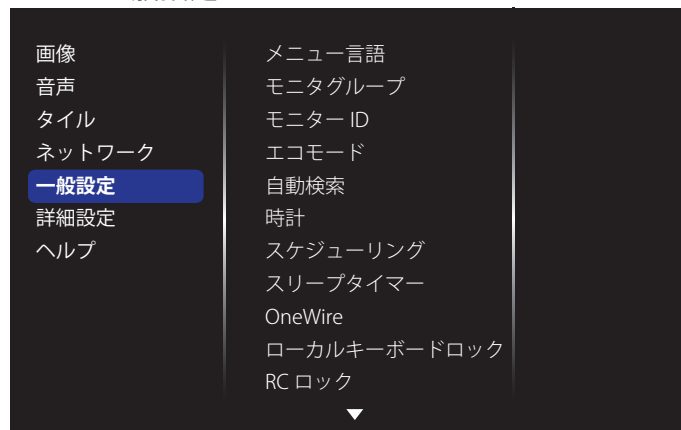
複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイの名前を変更して識別しやすくなります。

名前を入力するには、スクリーン上のキーボードまたはリモコン上のキーパッドを使用します。

インターネットメモリをクリアする

クッキー、ブックマーク、履歴一覧やオートフィルで使用したデータをすべて消去します。

5.1.5. 一般設定



メニュー言語

OSD メニューで使用する言語を選びます。

モニタグループ

グループ範囲を 1 から 255 の値に調節します。デフォルト設定は 255 です。

モニター ID

RS232C 接続経由で本製品を操作するために ID 番号を調節します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意の ID を割り当てる必要があります。モニターの ID 番号範囲は 1 ～ 255 の間です。デフォルト設定は 1 です。

エコモード

自動的に消費電力を低減するように本製品を設定します。

自動検索

選択すると、本製品で利用可能な信号ソースを自動で検出して表示します。

時計

本製品の内部時計に設定された現在の日付と時刻を設定します。

メモ :

サマータイムの定義と動作 :

現在のサマータイム設定は、時計でサマータイムのオン / オフを調整する方法を知らないお客様向けのリマインダーツールとして動作します。実際の時計は自動的に調整しません。問題点は、時計を調整するにあたり、地域または国ごとに確固としたルールがないところにあります。この問題を解消するため、サマータイムの開始日と終了日をユーザーが設定できる必要があります。サマータイム補正がオンになっている場合 (ユーザーが選択可能)、実際の時計はサマータイムをオンおよびオフする日付として設定されている時刻に調整する必要があります。サマータイム開始日には、2 時に時計を 1 時間進める必要があります。サマータイム終了日には、2 時に時計を 1 時間戻す必要があります。

既存のサマータイムオン / オフメニュー項目が以下のメニュー構造に置き換えられます :

メニュー項目 { サマータイム設定 } に、以下の項目が含まれたサブメニューが開きます :

- ・ メニュー項目 { サマータイム開始日 } 選択項目 { 1st、2nd、3rd、4th、最後 } 選択項目の日曜日 { 1-12 月 }
- ・ メニュー項目 { サマータイム終了日 } 選択項目 { 1st、2nd、3rd、4th、最後 } 選択項目の日曜日 { 1-12 月 }
- ・ メニュー項目 { 補正時間 } 選択項目 { 0.5、1.0、1.5、2.0 } 時間
- ・ メニュー項目 { サマータイム設定 } 選択項目 { オン、オフ }

夏時間」が「オン」の場合、重要な時間帯を過ぎた冬と夏の時間(2015年4月5日の2時に時刻が1時間遅く設定される、または、2015年10月25日の2時に時刻が1時間早く設定されるなど)に、実際の時計が自動的に調整されるはずですが、

スケジューリング

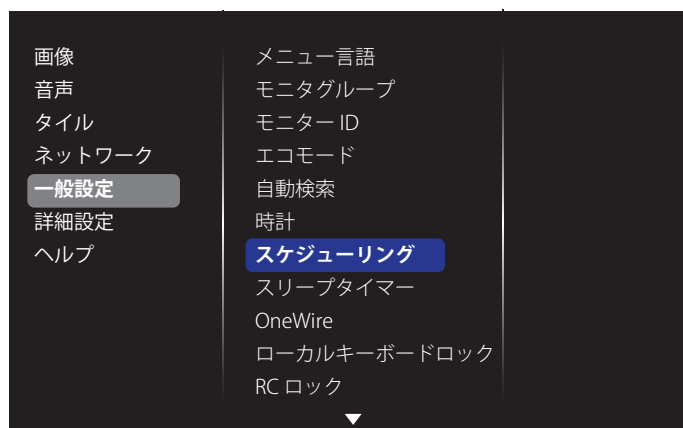
この機能を使うと、最大7つの異なるスケジュール間隔で本製品を作動させることができます。

以下の設定が可能です。

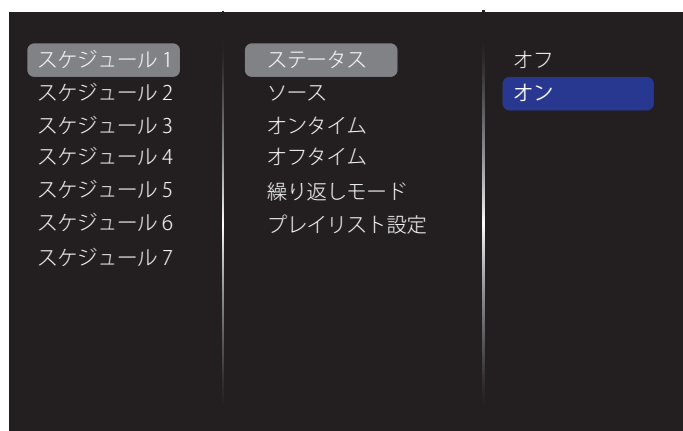
- スケジュールされた各稼働期間で、本製品がどの入力ソースを使用するか。
- 本製品を電源オン、電源オフにする時間。
- 本製品をアクティブにする曜日。

メモ:

- この機能を使用する前に、{時計}メニューで現在の日付と時刻を設定することをおすすめします。
- {一般設定}メニューにある{時計}オプションを変更した後、この{スケジューリング}をもう1度設定する必要があります。

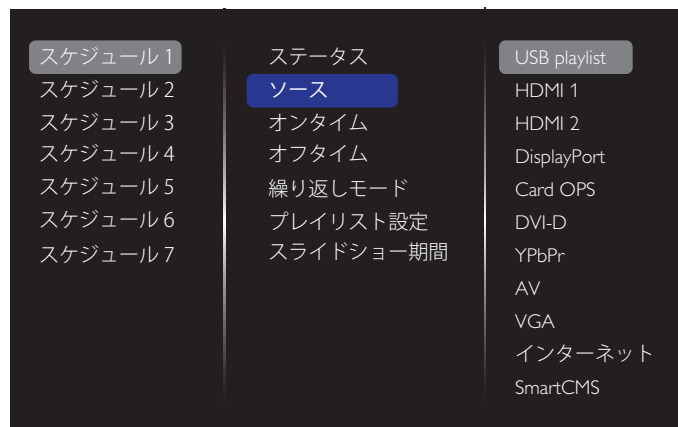


1. 7つのスケジュールを設定できます。**ステータス**で**オン**を選択します。

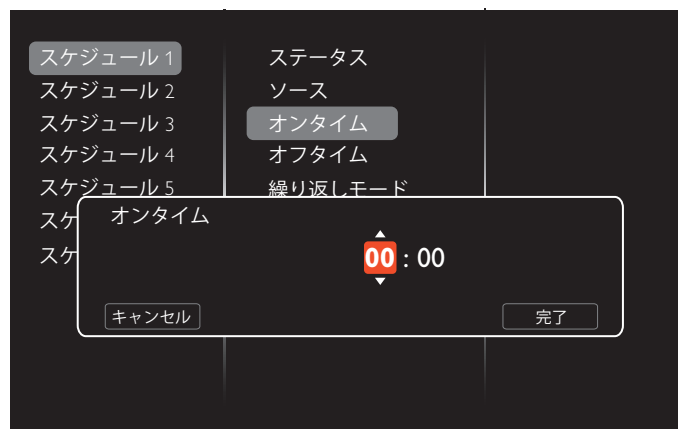


2. **ソース**で入力ソースを選びます。{ソース} → {USB}を選択した場合は、プレイリストを設定する必要があります。{ソース} → {BROWSER (ブラウザー)}を選択した場合は、URLアドレスを設定する必要があります。

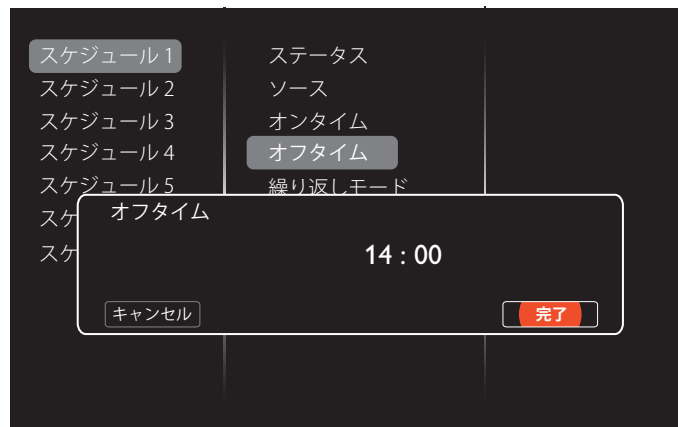
注記: {ソース} → {Autoplay}の順に選択した場合、USBのルートディレクトリに「philips」という名前のフォルダを作成して、表示したいファイル(画像またはムービー)をフォルダーに入れる必要があります。



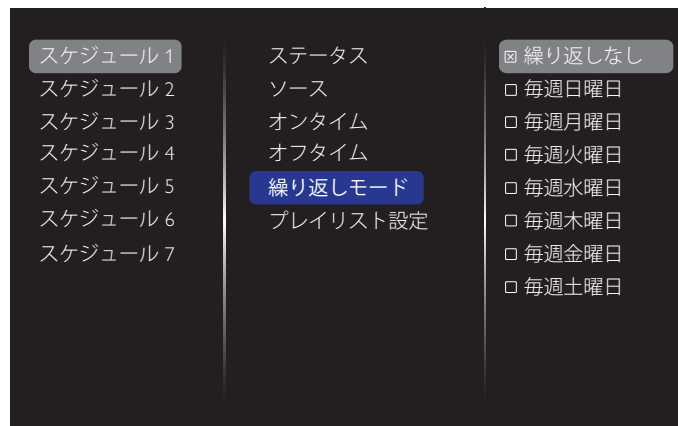
3. **オンタイム**を設定します。



4. **オフタイム**を設定します。



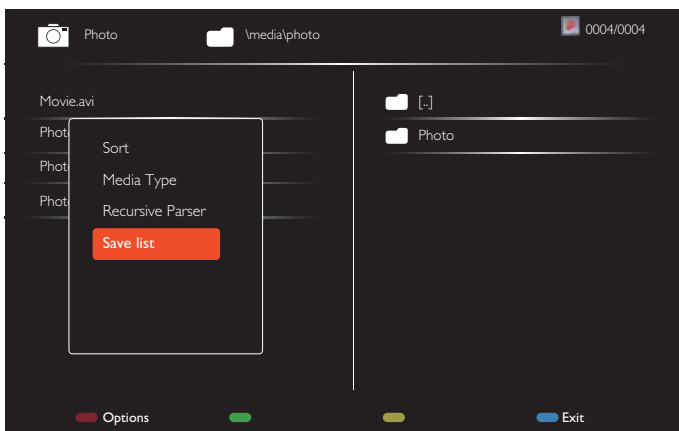
5. **繰り返しモード**を選択します。



6. {ソース} → {USB} を選択した場合は、**プレイリスト設定**に移動します。



- [▲][▼] ボタンを押してファイルを選択します。
 - [←][→] ボタンを押して、プレイリストとファイルマネージャーとを切り替えます。
 - [OK] ボタンを押してプレイリストを設定または消去します。
7. プレイリストを保存するには、[] を押して **Save list (保存リスト)** を選択します。



メモ：

- それぞれのプレイリストは最大 30 ファイルまで対応しています。
- {工場出荷時設定} を選択してもプレイリストは消去されません。ファイルを手動で削除するか、USB 内にある usb_schedulinglist.txt を削除する必要があります。

スリープタイマー

指定した時間に本製品の電源を切ります。

OneWire

本製品の HDMI-CEC 規格に対応したデバイスを HDMI 端子で接続し、同じリモコンを使って操作します。

ローカルキーボードロック

本製品のキーボード (コントロールボタン) 機能を有効または無効にします。

- {ロック解除}: キーボード機能を有効にします。
- {すべてロックする}: 全てのキーボード機能をロックします。
- {音量以外をロックする}: [一] および [十] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- {電源以外をロックする}: [⏻] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。

- {音量と電源以外をロックする}: [一][十] および [⏻] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。

RC ロック

リモコンのボタン機能を有効または無効にします。

- {ロック解除}: キーボード機能を有効にします。
- {すべてロックする}: 全てのキーボード機能をロックします。
- {音量以外をロックする}: [一] および [十] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- {電源以外をロックする}: [⏻] 電源ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- {音量と電源以外をロックする}: [一][十] および [⏻] 電源ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。

注記: **ローカルキーボードロック** または **RC ロック** のロック機能を無効にするには、リモコンの [⏻] ボタンと **1998** を押します。

ピクセルシフト

ビデオ入力ソースに対して、30 秒間本製品を使用しなかった場合に生じる「焼き付き」や「後イメージ」からディスプレイを保護するために、{オン} を選択してスクリーンのイメージを自動的に動かすことができます。

スマートパワー

動的電力消費および画像コントラストを最適化するため、バックライトのレベルを選択します。

オプションは次の通りです。{オフ}、{標準}、{中}、{高} から選択します。

Wake on lan (ウェイクオン LAN)

{オン} を選択すると、ネットワーク経由でディスプレイをオンにできます。

電源オン

次に電源コードを取り付けた際に表示されるディスプレイの状態を選びます。

- {オン} - 電源コードを取り付けた後、画面はオンの状態になります。
- {スタンバイ} - 電源コードを取り付けた後、画面はスタンバイの状態になります。
- {最新ステータス} - 電源コードを外して再び取り付けると、ディスプレイは前の電源状態 (オン/オフ/スタンバイ) に戻ります。

光センサー

{オン} を選択すると、画面はバックライトを自動的に調節します。CRD41 を接続した時にのみ利用できます。

人感センサー

人を感知した時にディスプレイのバックライトをオンにし、設定された一定の時間後にバックライトをオフにするように設定します。

オプションは:{オフ、10 ~ 60} 分です。CRD41 を接続した時にのみ利用できます。

電源 LED ライト

インジケータをオフにするには {オフ} を選択します。


ロゴを表示する

{オフ} を選ぶと、本製品に電源を入れた時に **PHILIPS** ロゴが表示されなくなります。

APM

{オン} を選択します。信号が存在しない場合には、本製品の電源が自動的にオフになります。

ソース通知

[] 電源ボタンを押して本製品をスタンバイモードからオンにしたり入力信号を変更した場合には、インフォメーション OSD がスクリーンの左上隅に表示されます。

この機能をオフにするには { オフ } を選択します。

DisplayPort Ver.

DisplayPort バージョンを 1.1a または 1.2 に設定します。この設定は DisplayPort の入力と出力でのみ有効です。

1.1a: DisplayPort バージョンを 1.1a (デフォルト) に切り替えます。

DisplayPort 出力は DisplayPort 入力のクローンです。

1.2: DisplayPort バージョンを 1.2 に切り替え、MST (マルチストリーム移送) をサポートします。


注記:

- DisplayPort ソースの下で画面が暗くなったり、異常な状態になった場合、1.1a に切り替え、電源を入れ直してください。
- DP デイジーチェーンアプリケーションの場合は、すべての PD で同じ DP バージョンを選択してください。
- HDCP 1.3 に対応。

冷却ファン

冷却ファンを常に回しておくには { オン } を選択します。{ 自動 } を選択すると、ディスプレイの温度に応じて冷却ファンの電源がオンまたはオフになります。

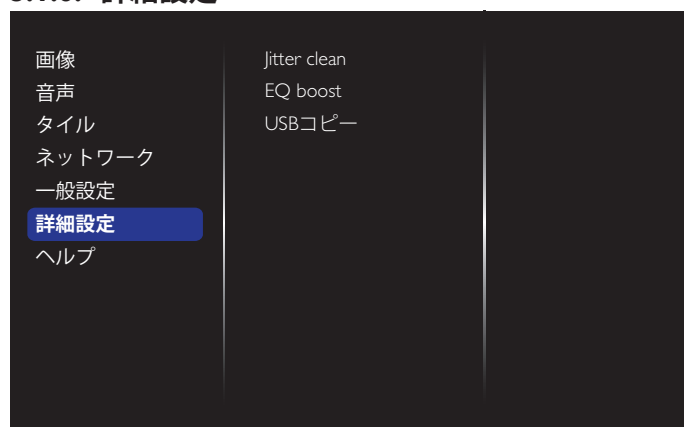
メモ:

- デフォルトの { 自動 } オプションでは、温度が 45° C (113° F) に達すると冷却ファンが回り始め、温度が 43° C (109° F) の温度で冷却ファンを停止します。
- 温度が 58° C (136° F) に達すると、画面に温度警告メッセージが表示されます。[] キー以外は機能しなくなります。
- 温度が 60° C (140° F) に達すると、本製品の電源は自動的にシャットダウンされます。

工場出荷時設定

カスタマイズされた全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.6. 詳細設定



Jitter clean

HDMI および DVI の信号品質を強化させるため、Jitter clean のオン / オフを切り替えます。デフォルト設定はオンです。

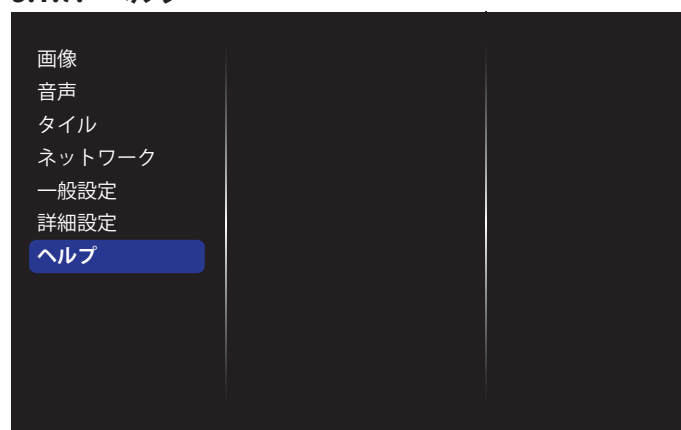
EQ boost

デジタル信号 EQ boost を調整します。

USB コピー

「Welcomelogo.png」のユーザーロゴを内部メモリにコピーします。

5.1.7. ヘルプ



6. USB デバイス互換性

USB 動画サブタイトルのフォーマット (言語字幕など)

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	最大フレーム率 (fps)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mpg mpeg .vob	PS	MPEG-1	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 DVD-PCM
		MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
.ts	TS	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p@frame rate=50、60Hz		30	
.ts .m2ts .mts .mt2	MaTS TTTS	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
		MVC	1920x1080i @ field rate=50、60Hz 1920x1080p @ frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz		30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz		30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)
.m4v	M4V	H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	AAC
.ism/Manifest .mpd	frag MP4	H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	AAC/HE-AAC(v1&v2)、 WMA、 WMA-PRO
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz		30	
.mp4	MP4	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	AAC/HE-AAC(v1&v2)、 WMA、 WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz		30	
		WMV9/VC1	1920x1080	30p、60i	30	
.mkv .mk3d	MKV	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 WMA、 WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	

USB 音声のフォーマット

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	周波数 (kHz)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mp3	MP3	-	-	48	384	MPEG-1,2,2.5 L3
.wma .asf	WMA (V2、最大 V9.2)	-	-	48	192	WMA
.wma	WMA Pro	-	-	96	768	WMA, WMA Pro
.wav(PC)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aif(mac) .aiff(mac)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aac .mp4 .m4a	AAC	-	-	48	1024	AAC, HE-AAC(v1&v2)
.pls .m3u	プレイリスト	-	-	-	-	-
.m4a	M4A	-	-	48	1024	AAC, HE-AAC(v1&v2)

USB 動画のフォーマット

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	解像度	フレーム率 (fps)	ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
*.avi *.mkv	AVI MKV	XviD	1920x1080	6 ~ 30	8	MP3 / AC3 / LPCM / ADPCM
		H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
		Motion JPEG	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.asf	ASF	XviD	1920x1080	6 ~ 30	8	MP3 / AC3 / LPCM / ADPCM / WMA
		H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
		Motion JPEG	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.wmv	ASF	Window Media Video v9	1920x1080	6 ~ 30	25	WMA
*.mp4	MP4	H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	MP3 / ADPCM / AAC
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
		XVID	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.3gp	3GPP	H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	ADPCM / AAC / HE-AAC
		HEMPEG4SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.vro	VRO VOB	MPEG1	352x288	24 / 25 / 30	30	AC3 / MPEG / LPCM
		MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	
*.mpg *.mpeg	PS	MPEG1	352x288	24 / 25 / 30	30	AC3 / MPEG / LPCM / AAC
		MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	
		H.264	1920x1080	6 ~ 30	25	
*.ts *.trp	TS	MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	AC3 / AAC / MP3 / DD+ / HE-AAC
		H.264	1920x1080	6 ~ 30	25	
		VC1	1920x1080	6 ~ 30	25	

USB 静止画のフォーマット

カテゴリー	ファイルタイプ	拡張子	能力
静止画	JPEG	jpg/jpeg	Baseline: Color mode = 444, size <= 32768x16128 Color mode = 422, size <= 16384x16128 Color mode = other; not supported
	BMP	bmp	4096x3072_4bit, 2730x2500_8bit, 2048x1536_16bit, 1500x1200_32bit
	PNG	png	4096x3072_4bit, 2730x2500_8bit, 2048x1536_16bit, 1500x1200_32bit
	GIF	gif	4096x3072_4bit, 2730x2500_8bit, 2048x1536_16bit, 1500x1200_32bit

メモ：

- コンテンツが上記のテーブルに記された対応フレーム / 秒以上の標準ビットレート / フレーム率である場合、音声や動画が作動しない可能性があります。
- コンテンツが上記のテーブルに記述された比率以上のビットレートやフレーム率である場合、再生すると途切れがちな映像になる可能性があります。

7. 入力モード

VGA 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
VGA	640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3	ビデオグラフィックアレイ
			72 Hz	31.5 MHz		
			75 Hz	31.5 MHz		
WVGA	720	400	70 Hz	33.75 MHz	16:9	ワイドビデオグラフィックアレイ
SVGA	800	600	60 Hz	40 MHz	4:3	スーパー VGA
			75 Hz	49.5 MHz		
XGA	1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3	拡張グラフィックアレイ
			75 Hz	78.75 MHz		
WXGA	1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3	ワイド XGA
WXGA	1280	800	60 Hz	79.5 MHz	16:10	Wide XGA
SXGA	1280	960	60 Hz	108 MHz	4:3	スーパー XGA
SXGA	1280	1024	60 Hz	108 MHz	5:4	スーパー XGA
WXGA	1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	Wide XGA
WXGA	1366	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	Wide XGA
UXGA	1600	1200	60 Hz	162 MHz	4:3	ウルトラ XGA
HD1080	1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9	HD1080

SDTV 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
480i	720	480	29.97 Hz	13.5 MHz	4:3	変更された NTSC 規格
480p			59.94 Hz	27 MHz		
576i	720	576	25 Hz	13.5 MHz	4:3	変更された PAL 規格
576p			50 Hz	27 MHz		

HDTV 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
720p	1280	720	50 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は DVB モード
			60 Hz			
1080i	1920	1080	25 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			30 Hz			
1080p	1920	1080	50 Hz	148.5 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			60 Hz			

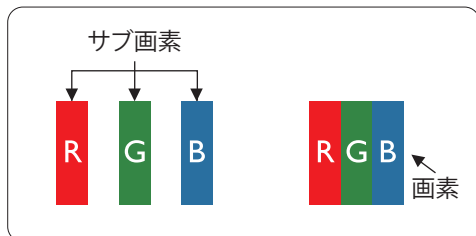
- PC のテキスト品質は、HD1080 モード (1920 × 1080、60Hz) で最適です。
- お使いの PC ディスプレイ画面は、メーカー（および Windows の特定のバージョン）により異なって表示されることがあります。
- PC をディスプレイに接続する情報については、お使いの PC の取扱説明書を確認してください。
- 垂直と水平の周波数選択モードが存在する場合、60Hz (垂直) と 31.5kHz (水平) を選択します。場合によって、PC の電源が OFF の場合（または PC が接続されていない場合）に異常な信号（筋など）が画面に表示されることがあります。その場合は [入力] ボタンを押してビデオモードに入ります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- 水平同期信号が RGB モードで不規則に見えるときは、PC の省電力モードまたはケーブル接続を確認してください。
- 本製品の設定表は IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力に基づいています。
- DVI サポートモードは PC サポートモードと同じと見なされます。
- 各モードの最適な垂直周波数は 60Hz です。

8. 画素欠陥ポリシー

当社は最高品質の製品をお届けすることを目指して、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を採用しています。しかしながら、プラズマおよび LCD ディスプレイで使用する PDP / TFT パネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、地域の保証条件と一致して、受け入れられない数の欠陥があるプラズマおよび LCD ディスプレイを修理または交換することを保証します。

この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、LCD 画面について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証に基づき修理の資格を得るには、欠陥画素の数が参照表で示した特定のレベルを超えている必要があります。LCD 画面が仕様の範囲内である場合、保証による交換 / 返金はお断りいたします。また、ある種類または組み合わせの画素欠陥が他のものより顕著であることもあるため、Philips ではこれらのものに対してより高い品質規格を設定しています。

8.1. 画素とサブ画素



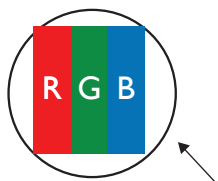
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の 3 つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいとき、3 つの色の付いたサブ画素が 1 つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3 つの色の付いたサブ画素は 1 つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の 1 つの画素として表示されます。

8.2. 画素欠陥の種類 + ドット定義

画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には 3 つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

ドット定義 = 欠陥のある「ドット」とは何か？

1 つ以上の欠陥、隣接するサブ画素は 1 つの「ドット」として定義されます。欠陥のあるサブ画素の数は、欠陥ドットの定義に関連しません。つまり、欠陥ドットは 1、2 または 3 つの暗いまたは点灯する、欠陥サブ画素で構成されることがあります。



1 つのドット = 赤、緑、青の 3 つのサブ画素で構成される 1 つの画素。

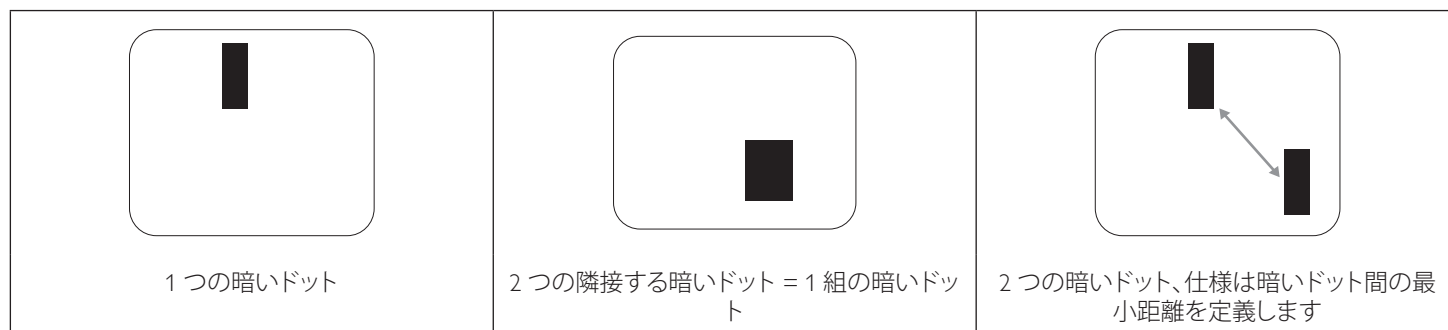
8.3. 明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、明るいドット欠陥の例を紹介します。

 <p>1 つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。</p>	 <p>2 つの隣接する点灯サブ画素： 赤 + 青 = 紫 赤 + 緑 = 黄 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)</p>	 <p>3 つの隣接する点灯サブ画素 (1 つの白い画素)</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

8.4. 暗いドット欠陥

暗いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、暗いドット欠陥の例を紹介します。



8.5. 画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。以下の表で、その仕様をご確認ください。

- ・ 許容される量の隣接する暗いドット = (隣接する暗いドット = 1 組の暗いドット)
- ・ 暗いドット間の最小距離
- ・ すべての欠陥ドットの総数

8.6. 画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips プラズマ / LCD ディスプレイの PDP / TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	10
すべての種類の総ドット欠陥	12

注記 : * 1 つまたは 2 つの隣接するサブ画素欠陥 = 1 つのドット欠陥

8.7. MURA

一部の LCD (液晶ディスプレイ) パネルには、暗い点またはパッチがときどき現れることがあります。この現象は、日本語の「ムラ」という用語である Mura として業界では知られています。これは、均一でない画面均一性が特定の条件下で現れる領域の一樣でないパターンを説明するために使用されます。Mura は液晶配向層の劣化の結果で、高い周辺温度下での長期間の操作が原因でもっとも一般的に引き起こされます。これは業界全体の現象で、Mura は修理できません。これも、当社の保証条件の対象外です。

Mura は LCD 技術の導入から、画面が大きくなり 1 日 24 時間休みなしに稼働するようになり、多くのディスプレイが低い低光量の条件下で動作されるようになってからずっとつきまとっています。こういったことすべてが、ディスプレイに影響を与える Mura の可能性を高めています。

MURA を見分ける方法

Mura には多くの症状と、複数の原因があります。これらのいくつかを、以下に一覧します。

- ・ 結晶マトリックスの混入物または異物
- ・ 製造中の液晶マトリックスの不均等な分布
- ・ バックライトの付近位置な輝度分布
- ・ パネル部品誘発ストレス
- ・ LCD セル内部の傷
- ・ 熱誘発ストレス - 長期間にわたる高温での操作

MURA を避ける方法

毎回 Mura を完全に根絶する保証はできませんが、一般に Mura の出現は以下の方法により最小限に抑えることができます。

- ・ バックライトの明るさを下げる
- ・ スクリーンセーバーを使用する

- 装置周囲の空気温度を下げる

9. 清掃とトラブルシューティング

9.1. 清掃

本製品を使用する際の注意

- 手や顔、物を本製品の通気口に近づけないでください。本製品上部は、通気口から放出される高温の排気のため、通常は高温となっています。身体の一部を近づけすぎると、火傷や怪我をすることがあります。本製品の上部近くになんらかの物を置くと、この物およびディスプレイ自体に熱関連の損傷が起こることがあります。
- 本製品を移動する際は、必ずすべてのケーブルを抜いてください。ケーブルが接続されたままディスプレイを移動させると、ケーブルが損傷し、その結果、火事や感電の恐れがあります。
- あらゆる種類の清掃や保守作業を行う前に、安全対策として電源プラグをコンセントから抜いてください。

前面パネル清掃手順

- 本製品の前面は特別に扱われています。表面は布巾または柔らかい糸くずの出ない布で優しく拭いてください。
- 表面が汚れてきた場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい、糸くずの出ない布を浸します。布を堅く絞り、余分な水分を除きます。本製品の表面を拭き、埃を除いてください。その後、同じ種類の乾いた布で拭いてください。
- 爪やあらゆる種類の堅い物でパネル表面を引っ掻いたり、ぶつけないでください。
- 殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないでください。

キャビネット清掃手順

- キャビネットが汚れたら、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- キャビネットがひどく汚れている場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい、糸くずの出ない布を浸します。布を絞り、できるだけ水分を除きます。キャビネットを拭き取ります。表面が乾くまで、別の乾いた布で拭きます。
- 本製品の表面には、水や洗剤が触れないようにしてください。水や水分が本製品内部に入り込むと、動作上の問題、電氣的障害、および感電事故が起こる恐れがあります。
- 爪やあらゆる種類の堅い物でキャビネットを引っ掻いたり、ぶつけないでください。
- キャビネットには殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないでください。
- 長期間ゴムまたはポリ塩化ビニル製の物をキャビネット近くに置かないでください。

9.2. トラブルシューティング

症状	想定される原因	対処
映像が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源プラグが抜けている。 2. ディスプレイの背面にある主電源スイッチがオンになっていない。 3. 選択された入力ソースが接続されていない。 4. ディスプレイがスタンバイモードになっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチが ON であることを確認します。 3. 本製品に信号接続を接続します。
本製品で表示される画像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲に電子機器や蛍光灯がある。	干渉が少なくなるような別の場所に本製品を移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていない。	本製品の背面に信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
映像が異常なパターンで歪んでいる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 入力ソースがディスプレイのスペックに合っていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本製品の範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本製品の仕様のセクションで、仕様を確認してください。
表示画像が画面サイズいっぱいに表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ズームモードが正しく設定されていない。 2. スキャンモードが誤ってアンダースキャンに設定されている。 	画面設定メニューのズームモードまたはカスタムズーム機能を使用して、ディスプレイのジオメトリと周波数パラメータを微調整します。
音声は聞こえるが、映像が表示されない	信号ケーブルが正しく接続されていない。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
映像は表示されるが、音が聞こえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 音量が一番低く設定されている。 3. {消音} がオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [+] または [-] ボタンを押して音声が聞こえるか確認します。 3. [MUTE] ボタンを使って消音をオフにします。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調節します。
一部の画素が光らない	液晶パネルに画素欠陥がある。	本製品は超ハイレベルな精密技術で製造されています。しかし、画面の一部に画素欠けが存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源をオフにした後も残像が表示されます。(例: ロゴ、ビデオゲーム、コンピューター画像、4:3 の通常モードで表示された画像を含む静止画像)	静止画像を長時間表示した。	長期間静止画像を表示しないようにしてください。本製品上に永続的な残像が残る原因となるためです。

<p>すべてのモニターを RC から同時におよび個別に操作するために、メニューの設定をセットアップする方法は？</p>	<p>RS232 でデージーチェーン接続し、IR ケーブルを使用しない</p>	<p>1. 最初のディスプレイを OSD で「Primary」に設定し (ADVANCED OPTION(アドバンスドオプション)/リモコンモード項目)、他のディスプレイは「Secondary」に設定します。</p> <p>2. セットアップ OSD がディスプレイの左上に表示されます (表示が消える場合は MENU を切り替えると再び表示されます)。</p> <p>3. デフォルト設定: ID 番号: 0、GP 番号: 0、この設定で IR からすべてのディスプレイを操作できます。</p> <p>「+」、「-」を「ID 番号」に変更すれば、「モニター ID」で信号ディスプレイを操作できます。</p> <p>「UP(上)」、「DOWN(下)」を「GP 番号」に変更すれば、「モニター ID」でマルチディスプレイを操作できます。</p> <p>* 最初のディスプレイは常に IR で操作します。</p>
<p>RC の仕組みとは？</p>	<p>デージーチェーン: デージーチェーン: RS232 を接続せずに、IR ケーブルを使用</p>	<p>設定する必要はありません。IR ケーブルに接続すれば IR で操作されます。</p> <p>* この方法は非同期現象になります。RS-232 ケーブルを使用する上記の設定を推奨します。</p>

10. 技術仕様

ディスプレイ:

項目	仕様
画面サイズ (アクティブ領域)	54.6" (138.7 cm) LCD
縦横比	16:9
画素数	1920 (水平) × 1080 (垂直)
画素ピッチ	0.630 (横) × 0.630 (縦) [mm]
表示可能色	約 10 億 7,370 万色
輝度 (標準)	700 cd/m ²
コントラスト比 (標準)	1200:1
表示角度	178 度

入 / 出力端子:

項目	仕様
スピーカー出力	内部スピーカー 外部スピーカー 10W (左) + 10W (右) [RMS]/8 Ω 1 方向 1 スピーカーシステム 82 dB/W/M/160 Hz ~ 13 KHz
音声出力	3.5mm フォンジャック × 1 0.5V [rms] (通常) / 2 チャンネル (L+R)
音声入力	RCA ジャック × 2 3.5mm フォンジャック × 1 0.5V [rms] (通常) / 2 チャンネル (L+R)
RS232C	2.5mm フォンジャック × 2 RS232C 入力 / RS232C 出力
RJ-45	RJ-45 ジャック × 2 (8 ピン) 10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック × 2 (タイプ A) (18 ピン) デジタル RGB:TMDs (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p、1080p、1920 × 1080/60 Hz (WUXGA) 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (L+R) LPCM のみサポート
DVI-D 入力	DVI-D ジャック デジタル RGB:TMDs (ビデオ)
VGA 入力	D-Sub ジャック × 1 (15 ピン) アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V:TTL (2.2k Ω)、SOG: 1V [p-p] (75 Ω) 最大: 720p、1080p、1920 × 1080/60 Hz (WUXGA)
DVI-I (DVI-D & VGA) 出力	DVI-I ジャック × 1 (29 ピン) デジタル RGB:TMDs (ビデオ) アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V:TTL (2.2k Ω)、SOG: 1V [p-p] (75 Ω) 最大: 720p、1080p、1920 × 1080/60 Hz (WUXGA)
コンポーネント入力	BNC ジャック × 3 Y: 1V [p-p] (75 Ω)、Pb: 0.7V [p-p] (75 Ω)、Pr: 0.7V [p-p] (75 Ω) 最大: 480i、576i、480p、576p、720p、1080i、1080p
ビデオ入力	BNC × 1 (Component_Y と共有) コンポジット 1V [p-p] (75 Ω)
ディスプレイポート イン / アウト	ディスプレイポートジャック × 2 (20 ピン) デジタル RGB:TMDs (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p、1080p、1920 × 1080/60 Hz (WUXGA) 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (L+R) LPCM のみサポート

一般:

項目	仕様
電源	AC 100 - 240V、50 - 60Hz、6A
消費電力(最大)	420 W
消費電力(標準)	168 W
消費電力(スタンバイ & オフ)	<0.5 W
寸法 (スタンドなし) [幅 × 高さ × 奥行き]	1211.4 × 682.2 × 98.5 (@ 壁取り付け) / 106.9 (@ ハンドル) (サイドシールなし)
重量 (スタンドなし)	24.4 Kg
総重量 (スタンドなし)	36.8 Kg

製品概要:

項目	仕様
可視画面サイズ	138.7 cm
オンモード時の電力消費量 (W)	131 W
年間エネルギー消費量 (kWh)	191 kWh
スタンバイ時の電力消費量 (W)	0.65 W
オフモード時の電力消費量 (W)	0.65 W
ディスプレイ解像度 (ピクセル)	1920 × 1080
ネットワークスタンバイ (W)	2 W

環境条件:

項目		仕様
温度	操作時	0 ～ 40℃
	Storage(ストレージ)	-20 ～ 60° C
湿度	操作時	20 ～ 80% RH (結露なし)
	Storage(ストレージ)	5 ～ 95% RH (結露なし)
高度	操作時	0 ～ 3,000 m
	保管時 / 輸送中	0 ～ 9,000 m

内部スピーカー:

項目	仕様
種類	1 方向 1 スピーカー
入力	10 W (RMS)
インピーダンス	8 Ω
出力音圧	82 dB/W/M
周波数応答	160 Hz ~ 13 KHz



フィリップス デジタルサイネージ用
ディスプレイ・サポートセンター

0120 - 060 - 530

philips-support@seamless.co.jp

受付時間

10:00-17:00 (平日)

2017 © Koninklijke Philips N.V. All rights reserved.

PhilipsおよびPhilips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録
商標であり、Koninklijke Philips N.V.の許可を得て使用しています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。